

## 第3章

# 良好な景観形成に関する 方針



## 第3章 良好な景観形成に関する方針

### ■ 良好な景観形成に関する方針の構成

#### 景観形成の理念と目標

<基本理念>

**「奥ゆかしさと本物を誇る風景づくり」**

<景観形成の目標>

- 特徴ある大地の構造と地域の歴史風土に根ざした風景づくりをめざします
- 本市の魅力を再認識し、それを最大限に生かしたおもてなしと活力ある風景づくりをめざします
- 市民・観光客、事業者、行政等の協働により、愛着と誇りのもてる風景づくりをめざします

#### 市全体の景観形成方針

- ①山岳景観の形成方針  
南アルプスの貴重な風景資産を守り、生かす
- ②眺望・自然景観の形成方針  
優れた眺望と豊かな自然を守り、大地の構造を生かした風景を育てる
- ③農村景観の形成方針  
四方の暮らしが育んだ美しい農村景観を守り、継承する
- ④歴史文化的景観の形成方針  
先人の知恵と歴史文化を伝える景観を守り、継承する
- ⑤界わい景観の形成方針  
個性ある顔づくりと観光客などへのおもてなしの景観を創る
- ⑥暮らしの景観の形成方針  
地域が誇る暮らしの景観を守り、生かす
- ⑦景観のルールづくりの方針  
マナーの向上とルールに基づき、景観の維持・向上を図る

#### エリア別の景観形成方針

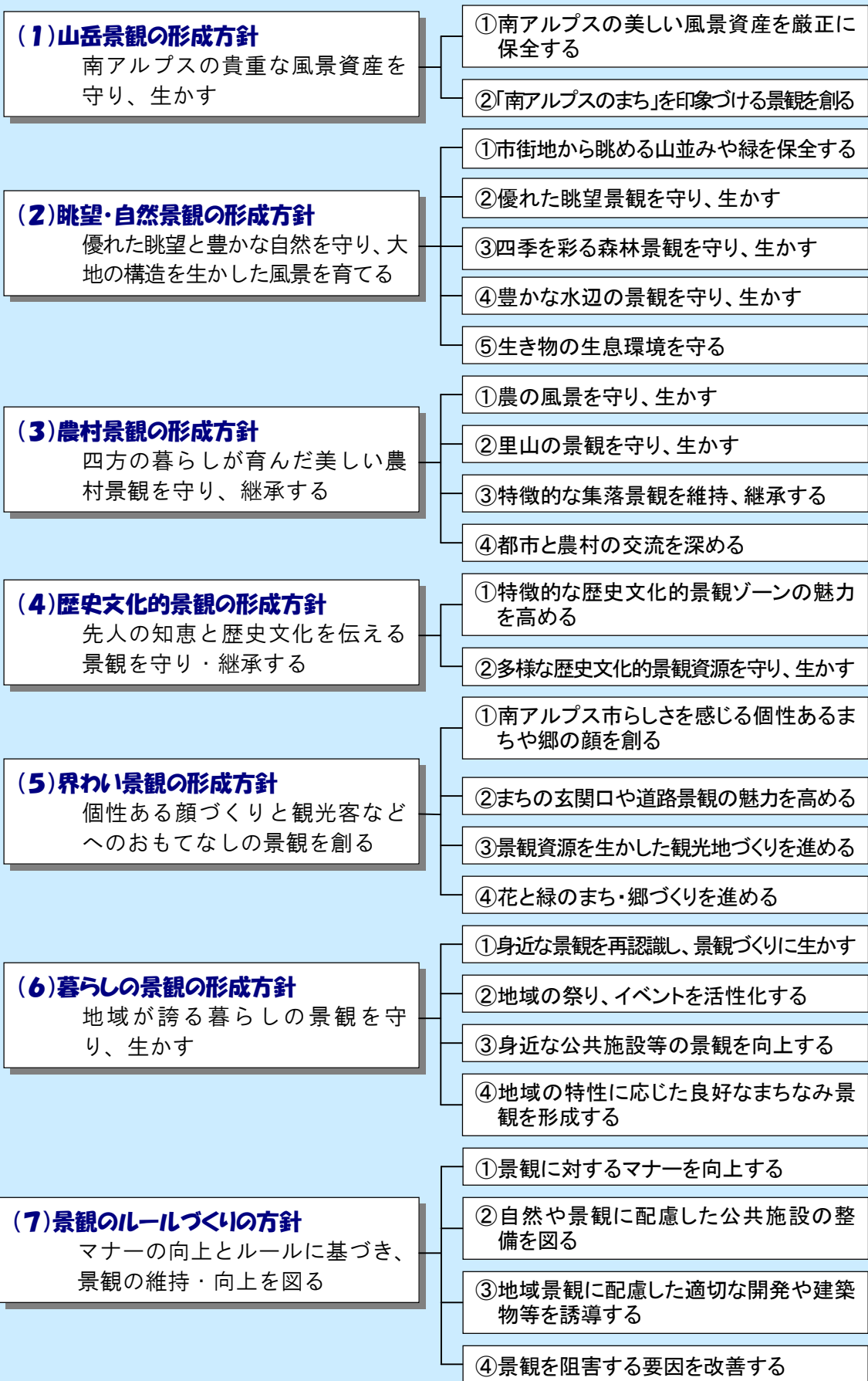
- ①山岳景観エリアの景観形成方針  
南アルプスの優れた山岳景観の厳正な保全・継承と、南アルプスの景観を楽しめる眺望場所づくり
- ②山間景観エリアの景観形成方針 [山方]  
豊かな自然景観の保全と自然レクリエーションの場にふさわしい景観づくり
- ③田園居住景観エリアの景観形成方針
  - 里山集落景観ゾーン[根方]  
特色ある里山と農村景観の維持向上と、優れた眺望を生かした景観づくり
  - 樹園集落景観ゾーン[原方]  
広大な扇状地に形成された桃源郷の農村景観の維持向上と、御勅使川の歴史遺産を生かした景観づくり
  - 田園集落景観ゾーン[田方]  
良好な水辺景観、田園景観の維持向上と、豊かな水と特徴的な歴史文化を生かした景観づくり
  - まちの景観ゾーン  
まちの中心軸・観光軸にふさわしいおもてなしのある景観づくり

#### 景観形成推進ゾーンの方針

- ①アルプス通り景観ゾーン
- ②甲斐芦安線景観ゾーン
- ③御勅使川歴史的景観ゾーン
- ④核となる市街地景観ゾーン
- ⑤小笠原商店街周辺景観ゾーン
- ⑥法善寺周辺歴史的景観ゾーン
- ⑦河川合流部水辺景観ゾーン
- ⑧市之瀬台地文化的景観ゾーン
- ⑨曲輪田地区農村景観ゾーン
- ⑩飯丘山周辺景観ゾーン

# 1 市全体の景観形成方針

## □景観形成方針の体系



## (1)山岳景観の形成方針

### 基本方針 ▶ 南アルプスの貴重な風景資産を守り、生かす

#### ①南アルプスの美しい風景資産を厳正に保全する

山岳地域では、我が国を代表する南アルプスの山々や、市民に身近な山として親しまれている楯形山など、それぞれ特徴ある美しい山岳景観が広がっています。

これらの地域は、国立公園（特別地域）、県立自然公園（特別地域）に指定されており、絶滅危惧種をはじめ貴重な動植物もみられ、本市が誇る第一級の自然・景観資源となっています。

この優れた自然・景観資源を厳正に保全し、後世に継承するため、次のような取り組みを図ります。

#### ■自然や景観に配慮した施設整備

南アルプス林道などの林道、堰堤等の治山施設、山小屋、登山道などについては、自然公園法等に基づく行為の規制を図るとともに、自然や景観に配慮した施設整備を図ります。



・南アルプス林道のガードレール



・北岳山荘と北岳



・蛇籠による護岸整備(広河原)

#### ■貴重な動植物の保護、生息環境の保全

国の特別天然記念物であるカモシカ、ライチョウや貴重な高山植物であるキタダケソウなど、貴重な動植物の保護、生息環境の保全を図ります。



・カモシカ



・ライチョウ



・キタダケソウ



・イワギキョウ



・コケモモ



・ヤマホタルブクロ

#### ■世界自然遺産登録に向けた取り組みとの連携

平成19年2月に、南アルプス市をはじめ、山梨県、長野県、静岡県の関係10市町村で構成される「南アルプス世界自然遺産登録推進協議会」が設立され、世界自然遺産の登録に向けた取り組みが進められています。

南アルプスの優れた自然・山岳景観を保全するため、こうした取り組みとの連携を促進します。



・南アルプスの雄大な山岳景観

## ②「南アルプスのまち」を印象づける景観を創る

南アルプス市という市の名称は全国的に本市の知名度を高めました。しかし、3,000m級の山並みが連なる南アルプス主稜線のダイナミックな山岳景観は、楡形山や甘利山等の前衛峰に遮られ、市街地周辺からは文字通り奥ゆかしき眺望景観となっています。また、南アルプス主稜線の良好な眺望場所は交通規制された林道や夜叉神峠などの登山道に限られています。

こうしたことから、本市の「南アルプスのまち」としての印象は、景観的には意外と希薄なものとなっています。

このため、市民や観光客など、多くの人々に景観的にも「南アルプスのまち」を強く印象づけ、より親しんでもらえるよう、次のような取り組みを図ります。

### ■南アルプスの登山、観光の拠点である芦安地区の魅力づくり

南アルプスの玄関口であり、登山・温泉・観光の拠点となっている芦安地区については、良好な自然環境の保全を図るとともに、まちなみ景観の向上など、南アルプスへの玄関口であることを意識させるような魅力づくりを図ります。

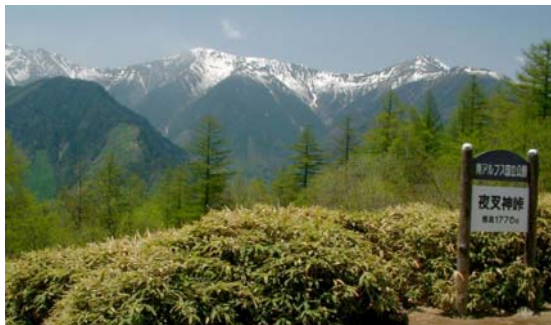


・山間地に寄り添って並ぶ芦安の家並み

### ■南アルプスの良好な眺望場所の整備

南アルプスの良好な眺望場所となっている夜叉神峠周辺については、眺望場所の整備、枝払いなどの管理、駐車場やアクセスルートの整備を図ります。

また、夜叉神トンネルの先の南アルプス林道沿いにある「御野立所」についてもシャトルバスの運行等、一般観光客の通年利用が可能となる仕組みづくりを検討します。



・夜叉神峠と白根三山



・御野立所

### ■南アルプスに誘う玄関口や道路景観の魅力づくり

中部横断自動車道南アルプスIC、白根ICなどの玄関口や南アルプス林道、主要地方道甲斐芦安線などの南アルプスへの主要なアクセス道路については、景観を阻害している要因の改善に努めるとともに「南アルプスのまち」を印象づけるような特色ある案内板やサインの設置、道路緑化、沿道のまちなみ誘導などを図ります。



・新緑の南アルプス林道

### <主な山岳景観資源>

区分	主な景観資源
山岳	北岳、間ノ岳、農鳥岳*、仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳*、観音岳、薬師岳、地藏ヶ岳*、アサヨ峰、夜叉神峠、千頭星山、甘利山、裸山、楡形山など
地形・溪谷、滝など	大樺沢の雪溪、間ノ岳カール、白鳳溪谷、御庵沢溪谷、瀬戸千段の滝、平成峡など
貴重な動植物	ライチョウ、カモシカ、イヌワシ、ヤマネ、ミヤマシロチョウ、キタダケソウ、広河原のカツラ林など

注) \* 農鳥岳、甲斐駒ヶ岳、地藏ヶ岳の山頂は市域外です。

## (2)眺望・自然景観の形成方針

### 基本方針 ▶ 優れた眺望と豊かな自然を守り、大地の構造を生かした風景を育てる

#### ①市街地から眺める山並みや緑を保全する

城山、楯形山、丸山、飯丘山と連続する市街地から眺める山並みや山の緑は、景観にまとまりや四季の彩りを与え、扇状地に展開する果樹園の風景や田園の風景と一体となって本市の景観を特徴づけています。

こうした山並み景観を保全するため、次のような取り組みを図ります。

#### ■市街地から眺める山の緑の保全

雨鳴山～飯丘山一帯は、市街地から眺める山並み景観を形成しており、本市の重要な景観的な骨格となっています。そのため、市街地の背景をなす山の緑については、保安林の指定継続、地域制緑地の指定検討、森林の維持管理などにより、山並みと緑の保全を図ります。



・果樹園と背景の山並み



・田園と楯形山



・市街地を流れる滝沢川から眺める市之瀬台地と楯形山

#### ■山並み景観に配慮した施設整備

高圧鉄塔や送電線等の構造物、携帯アンテナ、高い建物など、山並みを妨げる要因については、一定の規制をかけるなど、景観に配慮した施設整備を図ります。



・市街地と背景の山並み景観

## ②優れた眺望景観を守り、生かす

市内には、白根三山を間近に望める夜叉神峠や御野立所、白根三山を眺めながら走れるアルプス通り、甲府盆地を一望する見晴らし平、市之瀬台地、ループ橋周辺、美しい富士山が眺められる楯形山林道や丸山林道など、優れた眺望場所が数多くあります。こうした優れた眺望場所（ビューポイント）を保全し、魅力的な観光スポットとして生かしていくため、次のような取り組みを行ないます。

### ■優れた眺望場所の掘り起こし

市民からの公募、まち歩きイベント等により、優れたビューポイントを選定するなど、潜在的な眺望場所の掘り起こしを図ります。



・風景づくり市民懇談会によるまち歩き(桃花橋公園)



・市之瀬台地の棚田からの眺望

### ■良好な眺望場所の整備と魅力の向上

良好な眺望場所については、小広場、案内板・サイン等の設置、枝払いなどの管理、ビューポイントを結ぶルートづくりなど、魅力の向上を図ります。



・ほたるみ公園



・夜叉神峠

### ■眺望景観を妨げる要因の改善

見通しを妨げる樹木の枝払いや電線・電柱、携帯アンテナ類、広告・看板など、眺望を妨げる要因の改善を図ります。



・アルプス通りからの眺望



・見晴らし平からの眺望

### ③四季を彩る森林景観を守り、生かす

本市の大部分を占める森林地域は、広葉樹や針葉樹の多様な林相を持ち四季折々の変化のある景観を見せてくれます。また、県民の森伊奈ヶ湖や登山・ハイキングコースなどは、自然とふれあう場として多くの市民や観光客等に親しまれています。

しかしながら、一部では放置されたり、松食い虫等で荒れているところもみられ、夏場に繁殖するクズバも景観上問題となっています。

森の景観を守り、自然とのふれあいを高めるため、次のような取り組みを図ります。

#### ■森林の適正な管理による森林景観の維持

「南アルプス市森林整備計画」に基づき、森林保全、森林整備や適正な管理を推進するとともに、市民参加による森林の手入れ、植林活動、クズバ対策などを促進します。



・楡形山稜線の森



・御庵沢上流のシラカバ林



・市民参加による森林の手入れ

#### ■森林の有効活用

森林の多面的な機能を活用し、森林療法や森林環境学習、エコツーリズム、森林レクリエーションの場の整備、バイオマスエネルギー等の活用などを促進します。



・森林科学館での屋外活動



・オリエンテーリング



・自然素材を用いたクラフト

### ④豊かな水辺の景観を守り、生かす

釜無川、御勅使川、野呂川は、本市の骨格的かつシンボリックな河川景観を形成しており、滝沢川、坪川、秋山川、伊奈ヶ湖などは、良好な水辺レクリエーションの場として市民や来訪者に親しまれています。

また、農業集落地では、数多くの小河川や水路が流れ、地域にうおいを与えています。特に、これらの河川が合流する下流域には、扇状地の伏流水が湧き出し、豊かな水田や水辺の風景が広がっています。

こうした豊かな水のある風景を守り、生かしていくため、次のような取り組みを図ります。

#### ■市民に親しまれている良好な水辺景観の保全

秋山川、滝沢川、徳島堰、伊奈ヶ湖等、市民に親しまれている良好な水辺景観の保全を図ります。



・滝沢川



・徳島堰



・南伊奈ヶ湖



## ■清流の回復と水辺景観の向上

自然護岸など、自然や景観に配慮した河川や水路の整備、ごみの不法投棄の防止、合併浄化槽の普及、市民参加による河川美化活動等により、清流の回復と水辺景観の向上を促進するとともに、散策路など、水辺に親しむルートづくりを図ります。



・滝沢川



・釜無川サイクリングロード

## ⑤生き物の生息環境を守る

南アルプス一帯は、貴重な動物が多く確認されていますが、市街地・集落地周辺でも、里山や水辺、雑木林、果樹園や水田などに、ヒバリやキジなどの鳥類、タヌキやリスなどの獣類、ホタルやカワラバッタなどの昆虫類、トノサマガエルなどの両生類、ウグイやオイカワなどの魚類など、多種多様な生き物が生息し、地域景観に彩りを与えています。

近年、都市化が進み、森林の伐採、河川の汚濁、農薬の使用、外来種の増加などにより、動植物の生息・生育条件への影響が懸念されています。

こうした生き物の生息環境を守るため、次のような取り組みを図ります。

### ■動植物の生息環境の維持保全

貴重な動植物の生息環境については、調査の充実、監視の強化、必要な保全措置の検討、市民や観光客に対する意識啓発、市民参加による生息環境の保全活動などを促進します。

### ■生態系に配慮した施設整備や農業の推進

道路や河川等の整備にあたっては、景観に配慮するとともに、多自然型工法と呼ばれる自然生態系に配慮した施設整備を促進します。

また、農業においても、低農薬化、家畜廃棄物対策、農業廃棄物のリサイクルなど、環境保全型農業の推進を図ります。



・イワナの放流(白根巨摩中学校)

## <主な眺望・自然景観資源>

区分	主な景観資源
山並み景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城山、櫛形山、丸山、飯丘山、甘利山と連続する山並み</li> <li>・市街地や集落地縁辺部の森林</li> </ul>
眺望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見晴らし平</li> <li>・櫛形山林道等からの富士山・甲府盆地の眺望</li> <li>・市之瀬台地やループ橋からの甲府盆地の眺望</li> <li>・開国橋やアルプス通り、釜無川堤防からの南アルプス（白根三山）の眺望</li> <li>・高台を通るウエスタンラインからの眺望</li> <li>・御勅使川周辺からの八ヶ岳・茅ヶ岳の眺望</li> <li>・南湖付近の特徴的な田園景観の眺望など</li> </ul>
森林	県民の森、夜叉神の森、広河原自然公園自然歩道、夜叉神峠高谷山ハイキングコース、清良平ハイキングコースなど
水辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>■河川等 釜無川、御勅使川、野呂川、滝沢川、坪川、秋山川など</li> <li>■湖沼等 北伊奈ヶ湖、南伊奈ヶ湖、菖蒲池、能蔵池、大笹池、立沼など</li> </ul>

### (3)農村景観の形成方針

#### 基本方針 ▶ 四方の暮らしが育んだ農村景観を守り、継承する

##### ①農の風景を守り、生かす

御勅使川扇状地一帯は、サクランボやモモ、スモモなどの果樹園が広く分布し、春にはピンク色や白色に染まり、美しい景観をみせてくれます。

また、水の豊かな低地部に広がる水田地帯や市之瀬台地にみられる美しい「棚田」は、本市の特徴的な景観を形成しています。

しかしながら、農地の宅地化や耕作放棄地の増加等により、特徴ある田園景観が少しずつ失われています。

ふるさとを代表する農の風景を守るため、次のような取り組みを図ります。

##### ■優良農地の保全

「南アルプス農業振興地域整備計画」に基づく優良農地の計画的な保全や農業基盤の整備を推進するとともに、地域ぐるみによる農業の活性化を促進します。

##### ■耕作放棄地の有効利用の促進

景観の大きな阻害要因となっている耕作放棄地については、「農地バンク制度」による営農希望者への幹旋、観光農園、体験農園、景観緑地（お花畑など）、クラインガルテン（滞在型市民農園）など、多面的な活用方法について検討を図ります。



・市之瀬台地の棚田



・扇状地に展開する果樹園



・低地部に広がる水田

##### ②里山の景観を守り、生かす

里山は、山菜採りやキノコ採りなど、地域の暮らしと関わりの深い山（森）で、落葉広葉樹や針葉樹を主体とした里山の風景は、農村景観にまとまりと四季の変化や彩りを与えてくれますが、近年は松食い虫の被害や人の手が入らずに放置され、荒廃しているところもみられます。

このため、南アルプス市森林整備計画に基づく森林の保全と適正な管理、市民参加による森の手入れや植林活動等により、里山の景観維持に努めます。



・棚田と里山



・スモモ畑と里山

### ③特徴的な集落景観を維持、継承する

古くから原方、田方、根方、山方と呼ばれているそれぞれの地域の暮らし方を背景に、市内には、御勅使川の氾濫に対処するため放射状かつ分散的に形成された集落形態、古民家や蔵、土塀のある家並み、鎮守の森や大木・古木、棚田の石積み、屋敷林、用水路など、様々な要素の相対として特徴的な集落景観が形成されています。

古くから形成され、往時の面影を残す特徴的な集落地として、「西野の集落」、「加賀美の集落」、「曲輪田の集落」、「高尾穂見神社周辺の山村集落」などが挙げられます。

このような特徴的な集落景観は、本市のイメージを牽引する郷土景観として、周辺の里山や農地と一体的に景観の維持向上に努めます。

また、古民家等の歴史的な建造物については、調査を実施し、適切な維持保全に努めます。



・西野の集落内の路地



・西野の農家の庭



・西野の農家の屋敷



・条里制の碁盤目状の区画が残る加賀美の家並み



・加賀美の集落



・曲輪田の集落



・高尾穂見神社周辺の山村集落

### ④都市と農村の交流を深める

農村地域の魅力をより高め、活力の向上を図るため、上記のような景観の維持向上と併せて観光農園、体験農園、クラインガルテン（滞在型市民農園）、グリーンパーク（農産物直売所）の整備やエコツーリズム、グリーンツーリズムの推進を図ります。

#### <主な農村景観資源>

区分	主な景観資源
農地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御勅使川扇状地一帯のサクランボやモモ、スモモなどの果樹園地帯</li> <li>・水の豊かな低地部に広がる水田地帯</li> <li>・市之瀬台地にみられる美しい「棚田」など</li> </ul>
里山	雨鳴山周辺、市之瀬台地周辺、高尾穂見神社周辺、飯丘山周辺、芦安地区周辺など
特筆すべき集落地	曲輪田の集落、西野の集落、加賀美の条里制の集落、穂見神社周辺の山村集落など

## (4)歴史文化的景観の形成方針

### 基本方針 ▶ 先人の知恵と歴史文化を伝える景観を守り、継承する

#### ①特徴的な歴史文化的景観ゾーンの魅力を高める

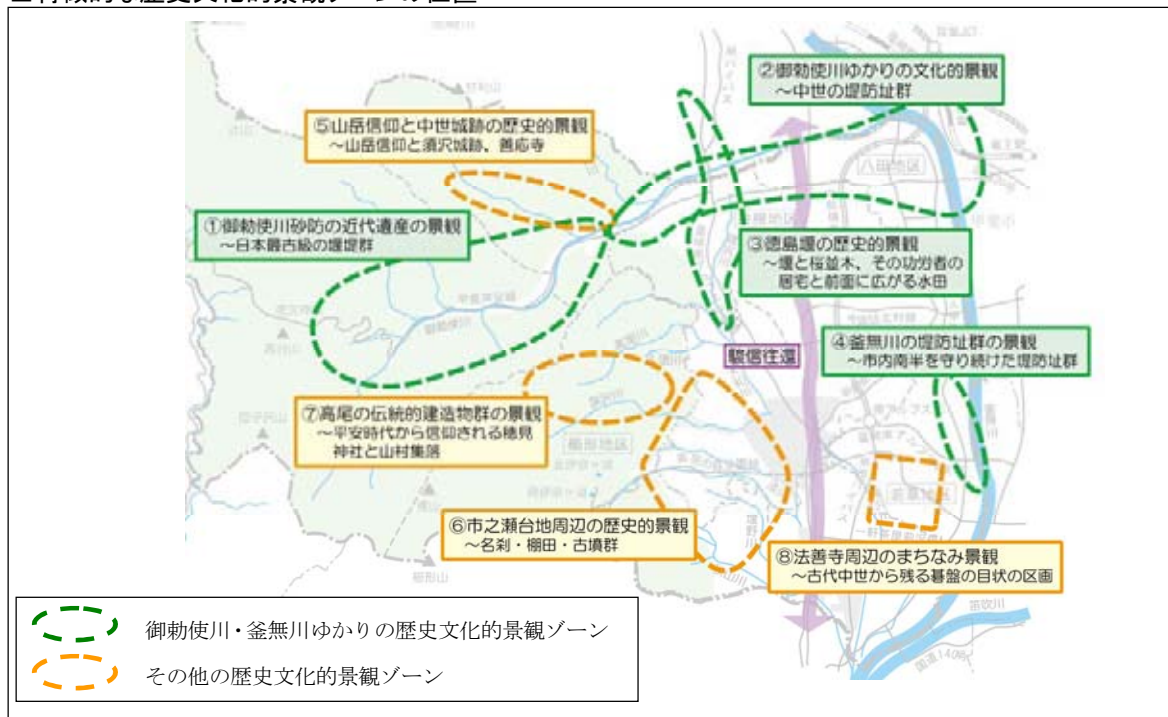
約2万年以上も前から人々が生活していた本市の歴史は古く、戦国時代の御勅使川治水技術に関連した歴史遺産をはじめとする史跡・遺跡、社寺、古道、古民家などの歴史資源が数多く分布しています。これらは、その歴史資源だけでなく、周辺の景観も一体的に捉えると、景観的なまとまりから、下記のような特色ある歴史文化的景観ゾーンに区分することができます。

このような特徴的な歴史文化的景観ゾーンにおいては、各ゾーンの歴史文化資源の価値を再認識し、資源の保存、周辺も含めた修景整備、魅力ある景観資源を結ぶルートづくり等により、歴史文化遺産の顕在化、地域の魅力と活力の向上を図ります。

#### ■特徴的な歴史文化的景観ゾーン

区分	歴史文化的景観ゾーンの特色
①御勅使川砂防の近代遺産の景観ゾーン	芦安堰堤、源堰堤など日本最古の堰堤群、御勅使川砂防の近代化遺産と御勅使川上流の水辺景観、芦安周辺の山間集落
②御勅使川ゆかりの文化的景観ゾーン	将棋頭、石積出、かすみ堤、信玄堤など、中世の御勅使川ゆかりの堤防址群と御勅使川の水辺景観、八ヶ岳の眺望
③徳島堰の歴史的景観ゾーン	徳島堰の桜並木、その功労者の矢崎家居宅と下流域に広がる水田の風景
④釜無川の堤防址群の景観ゾーン	市内南側を洪水から守り続けてきた釜無川堤防址群の景観と南アルプスの眺望（白根三山など）
⑤山岳信仰と中世城跡の歴史的景観ゾーン	善応寺、大嵐のビヤクシン、山岳信仰と須沢城跡の歴史的景観と山間集落
⑥市之瀬台地周辺の歴史的景観ゾーン	甲府盆地を一望する眺望景観、大型前方後円墳と古墳群、甲斐源氏時代の熊野神社、上野城跡、伝嗣院大日如来座像などの各種名刹の歴史的景観、棚田の文化的景観など
⑦高尾の伝統的建造物群景観ゾーン	平安時代から信仰される穂見神社と特徴的な山村集落の景観
⑧法善寺周辺のまちなみ景観ゾーン	法善寺を中心とした中世から残る基盤の目状の区画からなるまちなみと集落景観

#### ■特徴的な歴史文化的景観ゾーンの位置



## ②多様な歴史文化的景観資源を守り、生かす

市内には、文化財の宝庫といえるほど数多くの歴史文化的資源が分布しており、本市の大きな特徴となっています。これらの歴史文化的資源の価値や魅力について再認識し、積極的な保全と次のような活用を図ります。

### ■全国に誇る御勅使川の歴史遺産の保全と活用

「芦安堰堤」などの堰堤群、信玄築堤の伝承をもつ「将棋頭」や「石積出」、農業灌漑用水である「徳島堰」などは、御勅使川の治水利水の歴史を物語る貴重な歴史遺産です。これらの全国に誇る御勅使川の歴史遺産の保全を図るとともに、歴史公園化等の活用を検討します。



・芦安堰堤



・将棋頭



・石積出

### ■豊富な遺跡・史跡の保全と活用

市内には、古長禅寺、物見塚古墳、六科丘古墳、おつき穴古墳、須沢城跡、椿城跡、秋山光朝館跡（熊野神社）、加賀美遠光館跡（法善寺）などの史跡も数多く分布しており、地域の景観を特徴づけています。

また、大塚遺跡、鋳物師屋遺跡、百々遺跡などの周知の遺跡が471箇所あり、市之瀬台地の古代遺跡群から、戦争遺跡であるロタコ（旧御勅使河原飛行場跡）といった近代の遺跡まで、多くの遺跡が扇状地一帯に広く分布しています。

これらの遺跡、史跡は、重要な景観の資源であり、保全を図るとともに、史跡や遺跡の公園化、小広場や案内板の整備等を促進し、資源の顕在化を図ります。



・物見塚古墳



・六科丘古墳



・おつき穴古墳



・須沢城跡



・椿城跡



・秋山光朝館跡



・大塚遺跡(古墳時代の住居跡)



・ロタコの掩体壕跡

## ■ 歴史的まちなみの顕在化

国道 52 号は、江戸時代に駿府（静岡県）と信州（長野県）を結んでいた駿信往還と呼ばれる旧街道で、市内には「荊沢宿」と「小笠原宿」が宿場町として、また、「十日市場」が交易の拠点として栄えた歴史があります。

国道 52 号沿いには荊沢に残るカネンテ（鍵の手）と呼ばれるクランク状の道筋をはじめ、わずかながら歴史的なまちなみを感じさせる雰囲気が残されています。

これらの歴史的なまちなみ地区については、場所のもつ歴史性に配慮した景観づくりを図っていきます。



・カネンテと呼ばれるクランク状の道筋



・カネンテに建つ伝統的和風の建物

## ■ 歴史的建造物の保存

長谷寺本堂、穂見神社本殿や神楽殿、法善寺鐘楼などの社寺建築をはじめ、安藤家住宅、矢崎家住宅などの古民家や蔵等の特徴ある歴史的建造物については、重要な景観資源として、周囲の環境も含め保存に努めます。



・穂見神社神楽殿



・法善寺鐘楼



・安藤家住宅

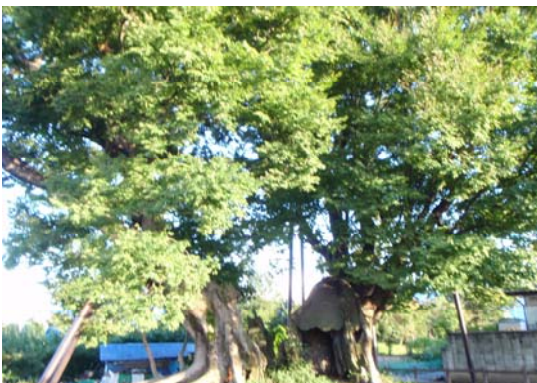


・長谷寺本堂

## ■ 古木・大木の保全と活用

市内には、三恵の大ケヤキ、古長禅寺のビャクシン、上市之瀬のイトザクラ、野牛島のビャクシンなど、天然記念物に指定されている古木をはじめ、旧御影教習所土手の松林など、地域で親しまれている大木・古木が多く分布しています。

これらの古木は、地域の目印、シンボルとして景観を特徴づけており、保全を図るとともに、案内板や休憩スペースの設置など、市民に親しまれる景観スポットとして資源の顕在化を図ります。



・三恵の大ケヤキ



・上市之瀬のイトザクラ

## ■社寺の顕在化

市内に数多く分布する社寺は、その本殿・本堂・山門といった歴史的建造物、鎮守の森や境内の庭、社寺を中心に行われる祭りや行事など、地域の心の拠り所として市民に親しまれている身近な景観資源であり、資源の保全と周辺の環境も含め景観の維持向上に努めます。



・若宮神社本殿



・沢登六角堂



・桃園神社境内の緑

## <主な歴史文化的景観資源>

区分	主な景観資源
史跡・遺跡	<p>■主要な史跡 古長禅寺、物見塚古墳、秋山光朝館跡、加賀美遠光館跡、十日市跡、塚原上村古墳、松声堂址、須沢城跡、椿城跡、六科丘古墳、小笠原長清公館跡、おつき穴古墳</p> <p>■御勅使川・釜無川ゆかりの遺跡 将棋頭、石積出、お熊野堤、芦安堰堤、徳島堰、将監堤など</p> <p>■戦争遺跡(ロタコ) 滑走路・誘導路跡、横穴壕<sup>えんたい</sup>や掩体壕跡など</p>
歴史的建造物	<p>■社寺建築等 長谷寺本堂、穂見神社本殿、法善寺鐘楼付梵鐘、江原浅間神社本殿、若宮神社本殿、沢登六角堂、妙了寺経堂及び輪蔵</p> <p>■古民家等 安藤家住宅、矢崎家住宅、松寿軒長崎、村松家住宅、芦澤家住宅</p>
名勝	懸腰山
天然記念物 (古木・大木)	三恵の大ケヤキ、古長禅寺のビャクシン、湯沢の思い杉、白根町のカエデ、野牛島のビャクシン、中野のカキ、宝珠寺のマツ、湯沢のサイカチ、大嵐のビャクシン、鏡中条のゴヨウマツ、十日市場の大ケヤキ、清水八幡の夫婦ケヤキ、秋山の多羅葉樹、広誓院のカヤの木、安藤家住宅の避雷針の松、不動寺の菩提樹、法音寺の多羅葉樹、本清寺のカヤの木、成妙寺の松、鮎沢の御崎ビャクシン、能蔵のエドヒガンザクラ、上市之瀬のイトザクラ、大城寺のケヤキ、山寺八幡神社のシラカシ林、沓沢山の神大母、水宮神社の社叢、平岡のヤシャブシ、法善寺のサルスベリ、曲輪田諏訪神社のエドヒガン、宗林寺のイロハモミジ、白根町のゴヨウマツ、隆昌院の多羅葉樹、高尾穂見神社の大スギ
社寺	長谷寺、古長禅寺、法善寺、善応寺、伝嗣院、長盛院、了円寺、常楽寺、慈眼寺、久本寺、妙了寺、本重寺、隆円寺、長遠寺、広誓院、光昌寺、深向院、不動寺、穂見神社、諏訪神社、水宮神社、神部神社、若宮八幡神社、秋山熊野神社、築山御崎神社、三宮神社、平岡諏訪神社、巨摩八幡宮など
その他	<p>■歴史的まちなみ 十日市場、荊沢宿、小笠原宿など</p> <p>■古道 駿信往還：概ね現在の国道52号</p> <p>■棚田 市之瀬台地の棚田</p> <p>■伝統行事等 沢登六角堂の切子、下市之瀬の獅子舞、若宮八幡の神楽、巨摩八幡神社の太々神楽、西南湖の獅子舞、十五所の甲州囃子、山寺八幡神社の太々神楽、高尾穂見神社の太々神楽、曲輪田の峰村小路の獅子舞、神部神社曳舟神事</p>

## (5) 界わい景観の形成方針

### 基本方針 ▶ 個性ある顔づくりと観光客などへのおもてなしの景観を創る

#### ① 南アルプス市らしさを感じる個性あるまちや郷の顔を創る

本市のまちや郷の生活の拠点、にぎわいの拠点となっている次のようなところについては、まちや郷の顔として景観の向上を図ります。

##### ■ 中心市街地の魅力づくり

国道 52 号沿道の商店街や、主要な公共施設などが集積している楕形地区の小笠原付近については、本市の中心市街地として、まちなみ景観の向上を図ります。



・小笠原の商店街

##### ■ 生活拠点の魅力づくり

各支所周辺は、合併前の町村の中心地であり、公共施設や店舗等の公益施設も多く立地していることから、身近な生活拠点として景観の向上を図ります。



・白根IC付近の大型店舗

##### ■ 大規模店舗集積地区

白根ICや開国橋、浅原橋周辺の大型店舗が集積するゾーンについては、看板や広告、まちなみの適正な誘導や緑化等により、景観の向上を図ります。

#### ② まちの玄関口や道路景観の魅力高める

##### ■ 景観の軸となっている道路景観の魅力の向上

本市のシンボリックな道路であるアルプス通りをはじめ、まちや郷の景観の骨格を形成している道路や主要な観光ルートとなっている道路については、「景観重要公共施設」\*に位置づけるなどして、地域にふさわしい道路緑化や道路景観の整備、良好な眺望景観への配慮、沿道における広告・看板、標識やまちなみの適切な誘導により、景観の維持向上に努めます。

##### ■ 景観上配慮すべき主要な道路

- ・ 甲府方面と連絡するシンボリックな道路であるアルプス通り
- ・ 南アルプスへのアクセス道路である主要地方道甲斐芦安線と南アルプス林道
- ・ まちの中心軸や骨格を形成する国道 52 号、中部横断自動車道と甲西バイパス
- ・ 伊奈ヶ湖方面を結ぶ県道県民の森公園線
- ・ 眺望景観が優れたウエスタンライン（広域農道） ほか



・アルプス通り



・中部横断自動車道と甲西バイパス

注) \* 「景観重要公共施設」については、「第 5 章 景観資源等の質的向上に関する事項」を参照下さい。



### ■ まちの玄関口の魅力の向上

本市の玄関口となっている南アルプスIC、白根ICや開国橋、信玄橋、浅原橋などについては、案内板やサイン類の統合・共架、沿道の修景・緑化など、玄関口にふさわしい魅力づくりを図ります。



・白根IC付近

### ■ 特徴的な土木構造物の魅力向上

本市の玄関口になっている開国橋や眺望の優れた桃花橋（ループ橋）、夜叉神トンネルなどの特徴的な構造物については、修景・緑化、PR等により、構造物が持つ魅力の向上に努めます。



・開国橋



・桃花橋(ループ橋)

## ③ 景観資源を生かした観光地づくりを進める

### ■ 既存の観光・交流拠点の魅力づくり

温泉観光施設が集積する芦安地区をはじめ、多くの市民や来訪者に親しまれ、景観の拠点となっている伊奈ヶ湖や県民の森、楡形総合公園や滝沢川公園、遊・湯ふれあい公園などの主要な観光・交流施設については、必要に応じて修景、緑化等により、良好な景観の維持・向上を図ります。



・ウッドビレッジ伊奈ヶ湖



・楡形総合公園



・遊・湯ふれあい公園

### ■ 良好な景観資源を生かした観光スポットづくり

本市の特徴ある風景は、風景そのものが観光資源です。そのため、優れた眺望場所（ビューポイント）の整備をはじめ、自然、農村、田園、歴史文化など多彩な景観資源を顕在化し、それを生かした観光スポットづくりを図ります。



・市之瀬台地の棚田と眺望

### ■ 魅力的な景観資源を結ぶ観光ルートや散策ルートづくり

既存の観光交流施設をはじめ、眺望場所や新しい観光スポットを結ぶ観光ルート、散策ルートの設定、景観マップの作成、案内板、誘導サインの設置等のルート整備など、「(仮称)ふるさとの歴史と風景を巡る散歩道」づくりを推進します。

#### ④花と緑のまち・郷づくりを進める

本市は、豊かな自然に恵まれています。市街地や集落地では緑が不足しているところも多くみられます。

市内では、地域住民やボランティア、小中学校の児童生徒などを中心に植樹や花植えなどの緑化活動が活発に行われ、工業団地でも企業がオープンガーデンを行っています。

花と緑に囲まれた「南アルプスのまち」としてのイメージアップを図るため、こうした草の根の市民活動の芽を伸ばし、行政と市民・企業が力を合わせて、次のような緑化の取り組みを図ります。

##### ■まちかど花壇の設置

市内では、市民のボランティア活動によるまちかど花壇の設置が行われていますが、今後とも、こうした活動の促進を図ります。



・市民のボランティア活動によるまちかど花壇の設置

##### ■主要公共施設の緑化

主要な道路、河川、公園、学校、行政文化施設など、公共施設の緑化を推進します。



・小笠原中央通り

・滝沢川公園

・学校ビオトープ

##### ■住宅地等、民有地の緑化

うるおいあるまちなみを形成していくため、住宅地や集落地、商業地、工業団地などの民有地については、生け垣の助成制度（「南アルプス市花壇・生け垣推進に関する補助金交付要綱」）や苗木の配布事業等を活用して、生け垣や前庭の緑化を促進します。

また、現在、住宅や工場等で行われているオープンガーデンについても普及促進を図ります。



・甲西工業団地のオープンガーデン(バラ園)



・民地の生け垣

・民地の生け垣

・屋敷林



・門前の畑地の花植え



・民地の生け垣



・民地の生け垣



・道路際の花植え

<主なまちの顔・拠点となる景観資源>

区分	主な景観資源
まちの拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中心市街地 南アルプス市役所・小笠原商店街周辺</li> <li>■ 生活拠点 八田支所、白根支所、芦安支所、若草支所、甲西支所の各支所周辺など</li> <li>■ 大規模店舗集積地区 白根ICや開国橋周辺、浅原橋周辺など</li> </ul>
道路景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 景観の軸となる主要な道路 アルプス通り、主要地方道甲斐芦安線、南アルプス林道、国道 52 号、中部横断自動車道と甲西バイパス、新山梨環状道路、県道県民の森公園線、ウエスタンライン（広域農道）など</li> <li>■ まちの玄関口 南アルプスIC、白根IC、開国橋、信玄橋、浅原橋など</li> <li>■ 特徴的な土木構造物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋梁（開国橋、双田橋、信玄橋、あるき沢橋、鏡中条橋、釜無川大橋、浅原橋、三郡橋、坪川大橋、桃花橋（ループ橋）など）</li> <li>・ トンネル（夜叉神トンネル、吊尾根トンネル、観音経トンネルなど）</li> </ul> </li> </ul>
観光・交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 温泉施設 農業体験実習館「樹園」、天恵泉白根桃源天笑閣、天恵泉ヘルスピア白根、白峰会館、ヘルシーハウス山溪園、金山沢温泉、さくらの里いこいの家、やまなみの湯など</li> <li>■ 観光交流施設 ふるさと天文館、ふるさと文化伝承館、総合交流ターミナル、桃源文化会館、白根桃源美術館、道の駅しらね、南アルプス芦安山岳館、ウッドビレッジ伊奈ヶ湖、まちの駅くしがた、春仙美術館、ほたるみ館など</li> <li>■ 主要な公園 御勅使南公園、白根中央公園、楡形総合公園、滝沢川公園、遊・湯ふれあい公園、秋山川すももの郷公園、甲西ふれあい公園、坪川公園など</li> <li>■ 自然レクリエーション施設 風の丘しらね、金山沢公園、北伊奈ヶ湖水辺公園、釜無川サイクリングロード、登山・ハイキングルート、山小屋など</li> </ul>

## (6)暮らしの景観の形成方針

### 基本方針 ▶ 地域が誇る暮らしの景観を守り、生かす

#### ①身近な景観を再認識し、景観づくりに生かす

古くから山方、根方、原方、田方と呼ばれるそれぞれの地域の暮らしが育んできた大木・古木、鎮守の森、屋敷林や雑木林、小川のせせらぎ、神社仏閣、古民家、蔵や石積み、祠や道祖神など、自然や地域の暮らしを伝える身近な景観資源が数多く分布し、地域の景観を特徴づけています。

こうした身近な景観資源を掘り起こし、その魅力を再認識していくとともに、地域の風景遺産として保全し、まちや郷づくりへの活用を図ります。



・路傍の屋敷神と鉢植え

#### ②地域の祭り、イベントを活性化する

##### ■祭りや伝統行事の保存と継承

市内には、十日市、諏訪神社の御柱祭、穂見神社の太太神楽・高尾の夜祭、西南湖の獅子舞など、古くから受け継がれている伝統行事や祭りが数多くあります。これらの祭りや伝統行事は地域景観を特徴づけている重要な要素として、保存・継承を図ります。



・西南湖の獅子舞

##### ■イベントの活性化

市内で開催されているフルーツ山麓フェスティバル、桃源郷マラソン大会、甲州凧上げまつり、南アルプス開山祭、まいもん朝市など、地域活性化のための各種イベントも祭りや伝統行事と同様に地域景観を特徴づけている要素として、継続を図るとともに一層の活性化を図ります。



・小笠原流流鏝馬

#### ③身近な公共施設等の景観を向上する

##### ■公共建築物の景観向上

市役所、支所、小中学校や公民館、福祉施設などの身近な公共施設は、地域の目印でもあり、日常的に市民が目にする施設であるため、景観に配慮した施設整備や緑化など、身近な暮らしの拠点として景観の向上を図ります。



・南アルプス市役所

##### ■身近な道路や公園等の景観向上

多くの市民に利用されている身近な生活道路や河川、公園等については、景観に配慮した施設整備を図るとともに、住民参加等による清掃等の美化活動や緑化、草花の手入れなどにより景観の向上を図ります。



・街路樹の足元に植えられた花

#### ④地域の特性に応じた良好なまちなみ景観を形成する

##### ■住宅地や集落地

緑豊かで比較的良好な景観を保っている集落地や住宅地については、生け垣や屋敷林の保全など、景観の維持向上に努めます。

その他の住宅地や集落地については、生け垣や前庭緑化などによるうるおいのあるまちなみ景観の形成をめざします。

特に、農地の宅地化が進行しているところについては、計画的な土地利用に基づき田園景観と調和したまちなみ景観の形成をめざします。

### ■既存商店街や家並み

国道52号や主要地方道甲斐芦安線の沿道に形成されている既存商店街や家並みについては、道路景観の整備や緑化、広告看板類の整序、沿道建物の意匠・形態の誘導などにより、まちなみ景観の向上をめざします。



・小笠原商店街のまちなみ

### ■大型店舗の集積地

大型店舗の立地が進んでいる白根IC、開国橋や浅原橋周辺については、一定のルールに基づく建築物や屋外広告物の意匠、形態の誘導により、地域景観と調和したまちなみ景観の形成をめざします。



・白根IC付近の大型店舗

### ■工業団地等の工業地

甲西工業団地をはじめとする工業集積地、南アルプス市都市計画マスタープランに定める釜無川や御勅使川沿いの土地利用誘導ゾーンについては、道路や敷地内緑化、景観に配慮した建築物を誘導し、地域景観と調和したまちなみ景観の形成をめざします。



・甲西工業団地の工場緑化

### <主な暮らしの景観資源>

区 分		主な景観資源
身近な自然や歴史資源		<ul style="list-style-type: none"> <li>■身近な自然 大木・古木、鎮守の森、屋敷林や雑木林、小川のせせらぎなど</li> <li>■身近な歴史資源 神社仏閣、古民家、蔵、石積み、祠や道祖神など</li> </ul>
地域の祭り・イベント		<ul style="list-style-type: none"> <li>■祭り・伝統行事 高尾囃子、諏訪神社御柱祭、穂見神社の太々神楽・高尾の夜祭、西郷御幸祭曲輪田峰村小路の獅子舞、六角堂の切子、山寺八幡神社の太々神楽、下市の獅子舞、十五所の甲州囃子、神部神社の曳船神事、巨摩八幡宮の太々神楽、長遠寺千部祭、甲州加賀美遠光太鼓、十日市、八王子社禊祭り、若宮八幡宮の神楽、西南湖の獅子舞</li> <li>■地域イベント フルーツ山麓フェスティバル、桃源郷マラソン大会、まいもん朝市、心あったか祭り、南アルプス開山祭、芦安紅葉まつり、サマーフェスティバルinわかくさ、アヤメ・やぶさめフェスタ、甲州凧上げまつりなど</li> </ul>
身近な公共施設	公共建築物	<ul style="list-style-type: none"> <li>■行政施設 南アルプス市役所、八田・白根・芦安・若草・甲西支所</li> <li>■文化交流施設等 ふるさと文化伝承館、ふれあい情報館、桃源文化会館、健康福祉センター、南アルプス芦安山岳館、若草生涯学習センター、若草瓦会館、楡形生涯学習センター、甲西農村環境改善センターなど</li> <li>■教育施設等 小中学校、高校など</li> <li>■コミュニティ施設 公民館、集会所など</li> </ul>
	その他の公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身近な公園・広場 農村公園、児童遊園、スポーツ広場など</li> <li>■身近な河川や水路 小河川、農業用排水路など</li> <li>■生活道路 地域のシンボルとなる道路など</li> </ul>
まちなみ		<ul style="list-style-type: none"> <li>■住宅地・集落地 市街地および周辺の住宅地、樹園集落地、田園集落地、山間集落地など</li> <li>■既存商店街 国道52号や主要地方道甲斐芦安線沿道の既存商店街や家並みなど</li> <li>■大型店舗の集積地 白根IC、開国橋や浅原橋周辺など</li> <li>■工業団地等の工業地 甲西工業団地など</li> </ul>

## (7)景観のルールづくりの方針

### 基本方針 ▶ マナーの向上とルールに基づき、景観の維持・向上を図る

#### ①景観に対するマナーを向上する

廃棄物の不法投棄、高山植物の採取、ごみのポイ捨て、キャンプ場での未処理のごみ、犬のフン、樹木や建造物への落書きなどで、良好な景観が損なわれているところもみられます。

このため、景観に対する関心や意識を高めていくとともに、必要に応じてマナーに関するルールづくりを検討します。

#### ②自然や景観に配慮した公共施設の整備を図る

道路や河川、橋梁、堰堤などの治山施設、公共建築物等の公共施設は、景観を構成する大きな要素であり、景観形成の先導的な役割を果たすため、次のような公共施設のうち、景観的に重要なものについては、「景観重要公共施設」\*<sup>1</sup>に位置づけるなどして、地域の特性や景観に配慮した施設づくりを促進するため、次のような取り組みを図ります。

##### ■サイン計画の活用

平成18年3月に策定された「南アルプス市公共サイン計画」の周知と積極的な活用を図るとともに、「南アルプス市景観計画」に併せ、必要に応じて内容の充実を図ります。



・サイン計画に基づいて設置された交差点表示サイン

##### ■公共施設のデザイン指針づくり

公共施設の計画・設計に際して、その手引きとなる「(仮称)南アルプス市公共施設デザインガイドライン」の策定を検討します。

##### ■公共施設のデザイン指針の対象となる要素(例)

- 道路構造物 (舗装、街路樹、街灯、ガードレール、道路標識、法面、擁壁など)
- 橋梁 (形態、意匠、色彩など)
- 河川構造物 (護岸、ワンド、河川緑化など)
- 治山施設 (堰堤、法面など)
- 公共建築物 (建築物の形態、意匠、色彩、法面、擁壁など)



・南アルプス林道沿いの巨大な法枠

#### ③地域景観に配慮した適切な開発や建築物等を誘導する

本市は、山岳地域、山間地域、田園居住地域など、それぞれに特色ある地域景観が形成されていますが、都市化の進展とともに大型商業施設やロードサイド型の店舗の立地、農地の宅地化の進行、森林の伐採、土石の採取などにより、良好な景観が損なわれつつあります。

良好な景観の維持向上を図るため、地域に応じて行為の制限\*<sup>2</sup>を定め、建築行為や開発行為等の適切な誘導を図ります。

注) \*<sup>1</sup> 「景観重要公共施設」については、第5章の「2景観重要公共施設の整備および良好な景観形成に関する事項」を参照下さい。

\*<sup>2</sup> 行為の制限については、「第4章 良好な景観形成のための行為の制限事項」を参照下さい。

## ■行為の制限に関する事項

### ■建築物等に関する行為の制限

- ・建築物の新築、改築、増築もしくは移転、外観を変更することとなる修繕、もしくは模様替えまたは色彩の変更（外観全般、屋根、外壁、建築設備、色彩、素材、垣・柵、緑化、照明等）
- ・工作物の新築、増築、改築もしくは移転、外観を変更することとなる修繕、もしくは模様替えまたは色彩の変更（位置、意匠、色彩、素材、緑化、照明等）

### ■開発等に関する行為の制限

- ・開発行為（変更後の形状、樹木の保存・緑化、遮へい等）
- ・木竹の伐採（伐採の方法）
- ・土地の開墾、土石の採取、鉱物の採取（事後の処置等）
- ・土地の区画・形質の変更（変更後の形状、緑化）
- ・屋外における土石、廃棄物、再生資源、その他の物件の堆積（堆積の方法、遮へい）
- ・水面の埋め立て（事後の措置等）

## ④景観を阻害する要因を改善する

都市化の進展とともに、店舗立地が進む幹線道路沿道には、屋外広告物が乱立しつつあり、携帯電話用のアンテナ塔の増加、統一感のない標識、案内板、サイン、広告旗の乱立、ごみや廃棄物の不法投棄などが、良好な地域景観を阻害しています。

景観を阻害している要因を改善するため、次のような取り組みを図ります。

### ■屋外広告物の適切な誘導を図る

本市では、現在、県からの委任により、「山梨県屋外広告物条例」（平成17年7月1日、改正・施行）に基づく規制誘導を行っています。

当面は、県条例の周知と積極的な活用を図りますが、将来的には本市独自の条例を制定し、地域の実情に即した規制誘導<sup>\*1</sup>を図っていきます。

### ■その他の景観を妨げている要因を改善する

高圧送電線の鉄塔や近年増加している携帯電話アンテナ塔、電柱・電線類等については、本計画で一定の制限<sup>\*2</sup>を設けるとともに、設置の際に、設置位置や構造物の形態、色彩などを事業者と協議し、周辺景観に配慮したものとします。

また、後述する景観重要公共施設や景観形成推進ゾーンなど、景観上重要な場所については、地域景観に配慮し、事業者との協議に基づき電線類の地中化、交通標識等を含めたサイン類の統合・共架などを検討します。

産業廃棄物の野積みについては、本計画で一定の制限<sup>\*2</sup>を設け、適切な誘導を図ります。ごみや廃棄物の不法投棄については、マナーの向上や監視・指導の強化により、防止に努めます。



・携帯電話アンテナ塔



・放置された投棄ゴミ

注) \*1 屋外広告物の規制誘導については、第5章の「**3**屋外広告物の表示・設置等の制限に関する事項」を参照下さい。

\*2 制限の詳細については、「第4章 良好な景観形成のための行為の制限事項」を参照下さい。

## 2 エリア別の景観形成方針

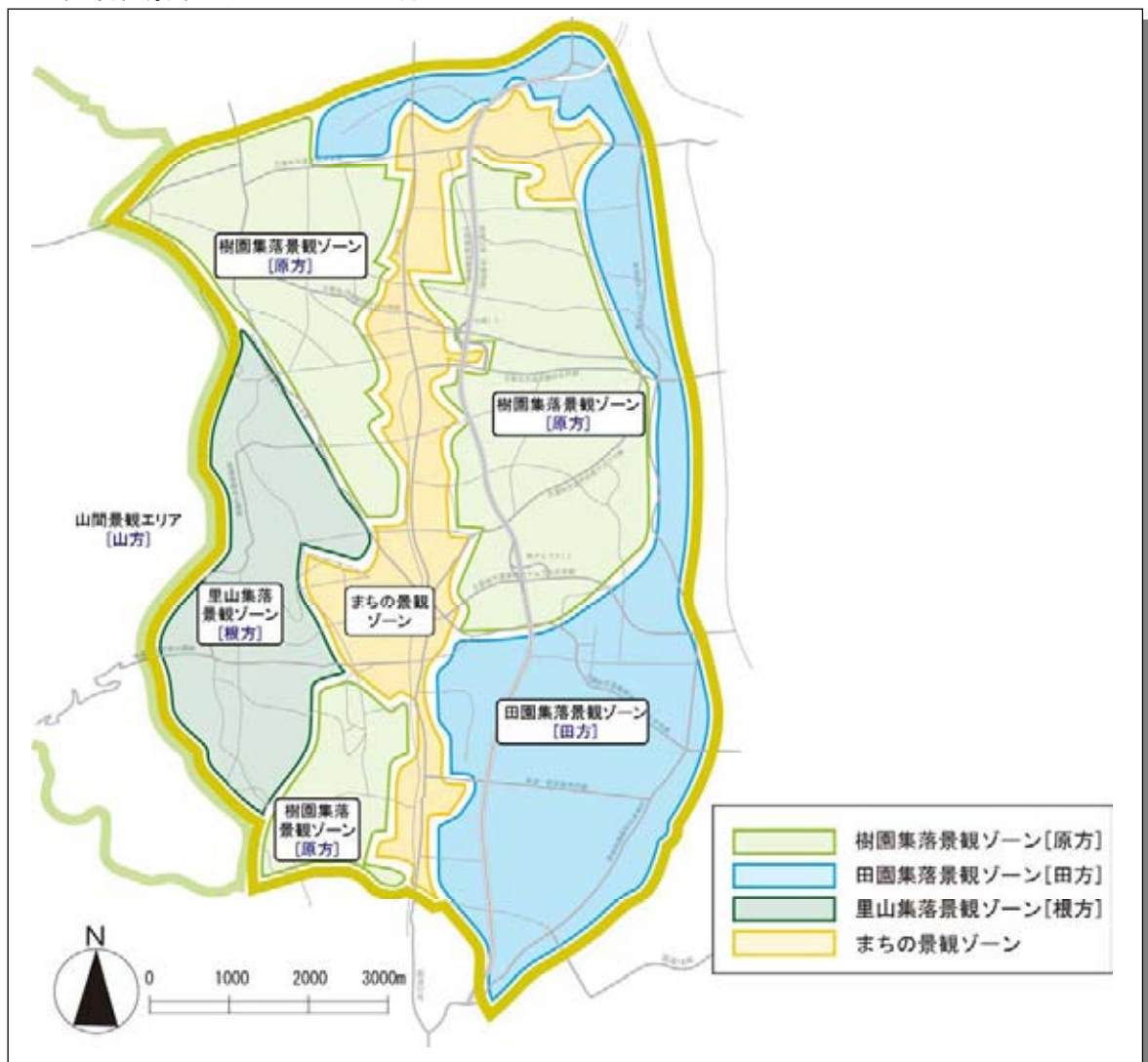
### □景観エリア・景観ゾーンの区分

第2章で示した本市の景観構造に基づき、次のように3つの景観エリアと田園居住景観エリアについては4つの景観ゾーンを設定します。

#### ■景観エリアの区分



#### ■田園居住景観エリアのゾーン区分





## (1)山岳景観エリアの景観形成方針

### ●景観の特性

本地域は、北岳をはじめとする3,000m級の山々や、薬師岳、観音岳、地藏ヶ岳からなる鳳凰三山の山々、また市民に身近な山として親しまれている楡形山など、それぞれ特徴ある美しい山岳景観が展開しています。

これらの山岳地域の大半は、国立公園（特別地域）、県立自然公園（特別地域）に指定されており、絶滅危惧種をはじめ貴重な動植物もみられます。四季折々の美しい変化をみせる豊かな自然と景観は、本市が誇る第一級の自然・景観資源となっています。

地域内では、一般車の通行が規制され、環境保全への取り組みも進められており、また一方では、世界自然遺産登録に向けての取り組みが進められています。

### ●景観形成の目標

**南アルプスの優れた山岳景観の厳正な保全・継承と、南アルプスの景観を楽しむ眺望場所づくり**

### ●景観形成方針

#### ①美しい山岳景観の厳正な保全

我が国有数の優れた自然・山岳景観を後世に継承するため、自然公園区域の指定を継続するとともに、世界自然遺産の登録に向けた取り組みと連携し、自然や景観に配慮した施設整備、貴重な動植物の保護など、厳正な景観や環境の保全に努めます。



・北岳の稜線から見た間ノ岳

#### ②貴重な動植物の保護

南アルプス周辺に生息し、国の特別天然記念物であるカモシカ、ライチョウや貴重な高山植物であるキタダケソウなどは、生息環境の維持などにより保護・保全に努めます。

また、近年激減したとされる楡形山のアヤマ平や裸山のアヤマ群落は、再生と保全に努めます。



・ライチョウ

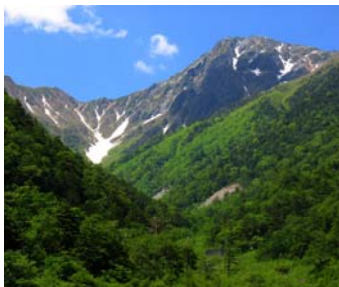


・キタダケソウ

#### ③南アルプスの風景を楽しむ眺望場所づくり

地形上、市街地からは、南アルプスの風景はあまりよく眺めることはできません。

市民や観光客など、多くの人々にこの雄大な山岳景観を気軽に楽しんでもらえるよう、一定のルールに基づく御野立所の一般観光客利用化、夜叉神峠周辺に良好な眺望場所の確保やアクセスルート、駐車場の整備等を検討します。



・広河原から望む北岳



・御野立所



・夜叉神峠と白根三山

## (2)山間景観エリアの景観形成方針 [山方]

### ●景観の特性

本地域は、雨鳴山、城山、丸山、飯丘山などの市街地や集落地に近い山々に抱かれ、神秘的な景観を見せる伊奈ヶ湖、登山・観光レクリエーションの基地となっている芦安地区、富士山の美しいロケーションで写真家等に知られている櫛形山林道など、市民の身近な自然とのふれあいの場として親しまれている地域です。

これらの山々は甲府盆地の眺望が秀逸であるとともに、反対に甲府盆地側からは本市のまちや郷の背景として眺められ、市街地の景観にまとまりと彩りを与える重要な景観要素になっています。

南アルプスの玄関口である芦安地区は、多くの温泉・観光レクリエーション施設が立地し、御勅使川の谷あいから山腹にかけて集落地が形成されているなど、特色ある山村集落の景観が形成されています。また、櫛形山の山麓にある高尾では、平安時代から信仰されているとされる穂見神社を中心に独自の山村集落の景観を形成しています。

### ●景観形成の目標

#### 豊かな自然景観の保全と自然レクリエーションの場にふさわしい景観づくり

### ●景観形成方針

#### ①森林景観の維持保全と多面的な活用

広大に広がる森林地帯の一部では、松食い虫の被害や人手が入らず放置されているために荒れているところもみられ、夏場に繁殖するクズバ等も景観上の問題となっています。そのため、森林の適正な管理、クズバ対策などにより、良好な森林景観の維持に努めます。

また、森林の多面的な機能を生かして森林療法や環境学習の場として活用するほか、バイオマスエネルギー等の活用を図ります。

#### ②良好な水辺景観の保全と活用

北伊奈ヶ湖や南伊奈ヶ湖、御勅使川上流部、金山沢や御庵沢などの市民や観光客に親しまれている良好な水辺については、景観の維持向上を図るとともに、自然レクリエーションの場として、景観的な魅力の向上を図ります。



・南伊奈ヶ湖

#### ③山並み景観の保全

雨鳴山、城山、櫛形山、丸山、飯丘山と連続するやまなみは、まちや郷から眺められ、景観の重要な要素となっているため、景観に配慮した施設整備（鉄塔や治山・治水施設等）や山の緑の保全など、山並みの景観を損なわないよう配慮します。

#### ④優れた眺望景観の活用

櫛形山の林道や登山道などからは、富士山や甲府盆地を一望する優れた眺望に恵まれており、眺望場所の整備を促進します。



・櫛形山林道から見た富士山

#### ⑤観光基地・芦安地区のまちなみ景観の向上

登山・温泉・観光の基地となっている芦安地区については、良好な自然環境の保全を図るとともに、まちなみ景観の向上と、地域のもつ潜在的な魅力を引き出し、活力の向上を図ります。



・芦安小学校体育館と御勅使川

#### ⑥特徴的な集落景観の維持向上

芦安地区や高尾の山あいの集落地は、特色ある山村集落景観の維持向上を図ります。

### (3) 田園居住景観エリアの景観形成方針

#### 1) 里山集落景観ゾーン [根方]

##### ● 景観の特性

市之瀬台地から飯丘山の山麓にかけて連なる里山を含む山の辺の農業集落ゾーンで、八ヶ岳、茅ヶ岳、御坂山地、富士山等を背景に甲府盆地が一望され、眺望に優れています。

また、市之瀬台地の美しい棚田や古い面影を残す曲輪田の農村集落など、後背の里山や果樹園と一体的に特徴的な農村景観を形成しています。

##### ● 景観形成の目標

#### 特色ある里山と農村景観の維持向上と、優れた眺望を生かした景観づくり

##### ● 景観形成方針

###### ① 里山の維持・保全

かつては、山方や根方の暮らしを支えてきた里山は、松食い虫の被害や手入れが行き届かないために荒れているところが見られます。そのため、森林の適正な維持管理、下草刈りやクズバ対策などにより、身近な森として景観の維持保全に努めます。



・ボランティアによる下草刈り(飯丘山)

###### ② 棚田など、特徴的な歴史文化的景観の維持向上

市之瀬台地に広がる棚田は、里山と一体となって人々の営みの中で創り出された本市の特筆すべき文化的景観であり、今後とも維持向上に努めます。

また、古墳群や名刹(名高い寺)も数多く分布しており、棚田も含めた歴史文化的な景観ゾーンとして景観の維持向上を図ります。



・市之瀬台地の棚田

###### ③ 特色ある農村景観の維持向上

市之瀬台地周辺や飯丘山の山の辺には、古くから御勅使川の洪水を避けて分散的に集落地が形成され、独特の集落景観を形成しています。特に、曲輪田や上市之瀬の集落地など、往時の面影を色濃く残す特徴的な農村景観を形成しています。これらの山の辺の農村景観はひとつの歴史文化的な景観として、景観の維持向上に努めます。

また、山麓から扇状地にかけて広く分布する果樹園の景観も、地域景観を特徴づけており、果樹園景観の維持・保全に努めます。



・曲輪田の段々畑と集落

###### ④ 優れた眺望を生かした景観づくり

本地域は高台にあり、市之瀬台地や飯丘山などからは、甲府盆地が一望できるなど、眺望景観に恵まれています。

本ゾーンを南北に縦貫するウエスタンライン(広域農道)および周辺では、眺望場所の整備や特色ある緑化などにより、魅力あるふるさと景観軸として形成を図ります。

また、飯丘山周辺では、優れた眺望を生かし、景観に配慮した新たな自然レクリエーションの場の整備を検討します。



・市之瀬台地からの眺望

## 2) 樹園集落景観ゾーン [原方]

### ● 景観の特性

広大な御勅使川扇状地に展開する樹園集落地で、緩やかに傾斜した扇状地地形、広大な果樹園に囲まれた集落地の景観は、本市の代表的な郷土景観となっています。

また、御勅使川の治水・利水の歴史を物語る堤防址群や徳島堰などの歴史遺産をはじめ、史跡や遺跡などの歴史文化的な景観資源も多く分布しています。

### ● 景観形成の目標

#### 広大な扇状地に形成された桃源郷の農村景観の維持向上と、御勅使川の歴史遺産を生かした景観づくり

### ● 景観形成方針

#### ① 御勅使川の歴史遺産や文化財を活用した景観づくり

御勅使川の治水・砂防・利水の歴史を物語る石積出、将棋頭、堰堤群、徳島堰などの歴史遺産は、学術的な価値も高く貴重な資源となっています。

これらの歴史遺産の保存を図るとともに、歴史公園化、ポケットパーク、サイン等の整備を図り、あまり知られていない歴史資源の顕在化とまちづくりへの活用を図ります。

そのほか、古墳、ロタコ（旧御勅使河原飛行場）、野牛島のビヤクシンなどの天然記念物、名刹、社寺林や古木などの歴史的資源の保全を図るとともに、周辺も含めて景観的な魅力の向上を図ります。



・将棋頭



・徳島堰

#### ② 果樹園景観の保全

サクランボ、モモやスモモに囲まれた景観は、本市の代表的な郷土景観であり、優良農地の保全、耕作放棄地の有効利用等により、良好な果樹園景観の維持保全に努めます。



・果樹園と鳳凰三山



・モモ畑と富士山

#### ③ 特徴的な農村景観の維持向上

西野や沢登など、昔の面影を残す特徴的な集落景観をはじめ、緑豊かで良好な景観を有する集落地、住宅地の景観の維持向上に努めます。



・西野の集落

#### ④ 住宅地のまちなみ景観の向上

農地と宅地の混在化が進んでいる住宅地等については、果樹園景観に配慮したまちなみ景観の形成を図ります。



・農地と宅地の混在による景観の混乱

### 3) 田園集落景観ゾーン [田方]

#### ● 景観の特性

釜無川の氾濫原の低地部に形成された田園集落地で、釜無川に向け滝沢川や坪川など大小の河川が合流し、扇状地の伏流水が豊富に湧出するなど、豊かな水環境と水辺景観が特徴的です。

また、豊かな水を背景に、古くから水田が耕され、広大な水田が広がり、周辺の山並みが眺望できる開放的な集落地の景観は、本市のもうひとつの特徴的な農村景観となっています。

また、交易の中心であった十日市場、条里制のまちなみが形成されている加賀美の集落をはじめ、古墳、社寺などの歴史資源も多く分布しており、地域の景観を特徴づけています。

#### ● 景観形成の目標

**良好な水辺景観、田園景観の維持向上と、豊かな水と特徴的な歴史文化を生かした景観づくり**

#### ● 景観形成方針

##### ① 豊かな「水の景」を生かした景観づくり

釜無川、滝沢川、坪川、秋山川をはじめとした大小の河川や用水路については、ごみの不法投棄の防止、水質の向上、環境美化活動等により水辺景観の維持・向上を図るとともに、景観に配慮した護岸や親水広場の整備、水辺のネットワークづくりなど、水辺を取り込んだ景観づくりを促進します。



・小学校隣接地に設けられた親水護岸

##### ② 特徴的な田園景観の維持向上

南湖周辺など、一面に広がる田園風景は、本市の景観を特徴づけている大きな要素であり、優良農地の保全、耕作放棄地の有効利用等により、良好な景観の維持保全に努めます。



・南湖の水田地帯

##### ③ 良好な集落景観の維持向上

条里制の碁盤目状の区画が残るまちなみを形成している加賀美の集落地など、昔の面影を残す特徴的な集落景観をはじめ、緑豊かで良好な景観を有する住宅地、集落地の景観の維持向上に努めます。



・集落内に多く見られる掘抜井戸

##### ④ 歴史文化資源の保全と景観的活用

将監堤などの近代遺産、法善寺などの名刹、安藤家住宅、古長禅寺のビャクシン、社寺林や古木などの歴史文化的資源の保全を図るとともに、周辺も含めて景観的な魅力の向上を図ります。



・将監堤



・避水台

##### ⑤ 住宅地のまちなみ景観の向上

急速に宅地化が進んでいる浅原橋周辺では、田園景観と調和する適切な土地利用や良好なまちなみ景観の誘導を促進します。



・宅地化が進む浅原橋周辺

## 4) まちの景観ゾーン

### ●景観の特性

国道52号および主要地方道甲斐芦安線周辺の既成市街地ゾーンで、商店街をはじめ市役所や支所、主要な公共施設などが集積し、本市の中心的なまちなみ景観を形成しています。

国道52号は旧街道である駿信往還で、かつて沿道には荊沢宿や小笠原宿などの宿場町が形成され、カネンテ（鍵の手）などの特徴的な道路形状、古い商家や歴史的な建造物などが今もみられます。また、裏手の旧街道筋にも往時の面影をしのぶ景観がみられます。

主要地方道甲斐芦安線は、甲府方面から信玄橋を経て南アルプス方面を結ぶ観光道路で、沿道は店舗や住宅など市街地が形成されていますが、南アルプスに誘う玄関口としては、まちなみの魅力に乏しいのが現状です。

### ●景観形成の目標

#### まちの中心軸・観光軸にふさわしいおもてなしのある景観づくり

### ●景観形成方針

#### ①多様なまちの拠点の顔づくり

下記のようなまちの拠点は、市民や観光客など多くの人々に利用され、親しまれている景観であり、主要な公共施設や店舗、まちなみなど、まちの顔にふさわしい良好な景観の形成を図ります。

- ・中心市街地（市役所や商店街のある小笠原周辺）
- ・市役所支所、文化交流施設、店舗等が集積する地域生活拠点
- ・滝沢川公園、楡形総合公園などの主要な公園、レクリエーション施設周辺
- ・道の駅や温泉施設、農産物直売所等の観光施設周辺
- ・白根IC周辺などの大型店舗やロードサイド型施設の集積地区



・小笠原商店街



・桃源文化会館



・道の駅しらね

#### ②まちの玄関口の景観魅力の向上

本市のまちの玄関口となっている中部横断自動車道の白根IC、南アルプスIC、新山梨環状道路のランプ、開国橋、信玄橋、浅原橋、国道52号、甲西バイパスの南北の市境界付近については、まちかど広場やサインの整備など、玄関口としての景観魅力の向上を図ります。



・開国橋から見た南アルプス

#### ③国道52号沿道のまちなみ景観の向上

国道52号周辺については、多様なまちの拠点の景観魅力の向上と併せて、カネンテ（鍵の手）などの旧街道筋の特徴を生かした道路景観の整備、商店街や沿道のまちなみ景観の向上等を図り、まちの中心軸にふさわしい賑わいと魅力ある景観の形成を図ります。



・旧街道の面影を残す家並み

#### ④甲斐芦安線沿道のまちなみ景観の向上

主要地方道甲斐芦安線についても、多様なまちの拠点の景観魅力の向上と併せて、道路景観の整備、屋外広告物の適切な誘導、沿道のまちなみ景観の向上等を図り、南アルプスに誘う玄関口にふさわしい賑わいと魅力ある景観の形成を図ります。



・旧免許センターの松林

### 3 景観形成推進ゾーンの方針

#### (1) 景観形成推進ゾーンの選定

基本方針に基づいた景観形成を推進していくためには、市民、事業者および行政が一体となつてできるところから進め、その効果を少しずつ広げていくことが必要です。

このため、本市の中でも、特に、景観形成上重要なところを「景観形成推進ゾーン」として位置づけ、先導的かつ重点的に景観施策を推進していきます。

「景観形成推進ゾーン」については、次の考え方に基づいて、その候補地を選定します。

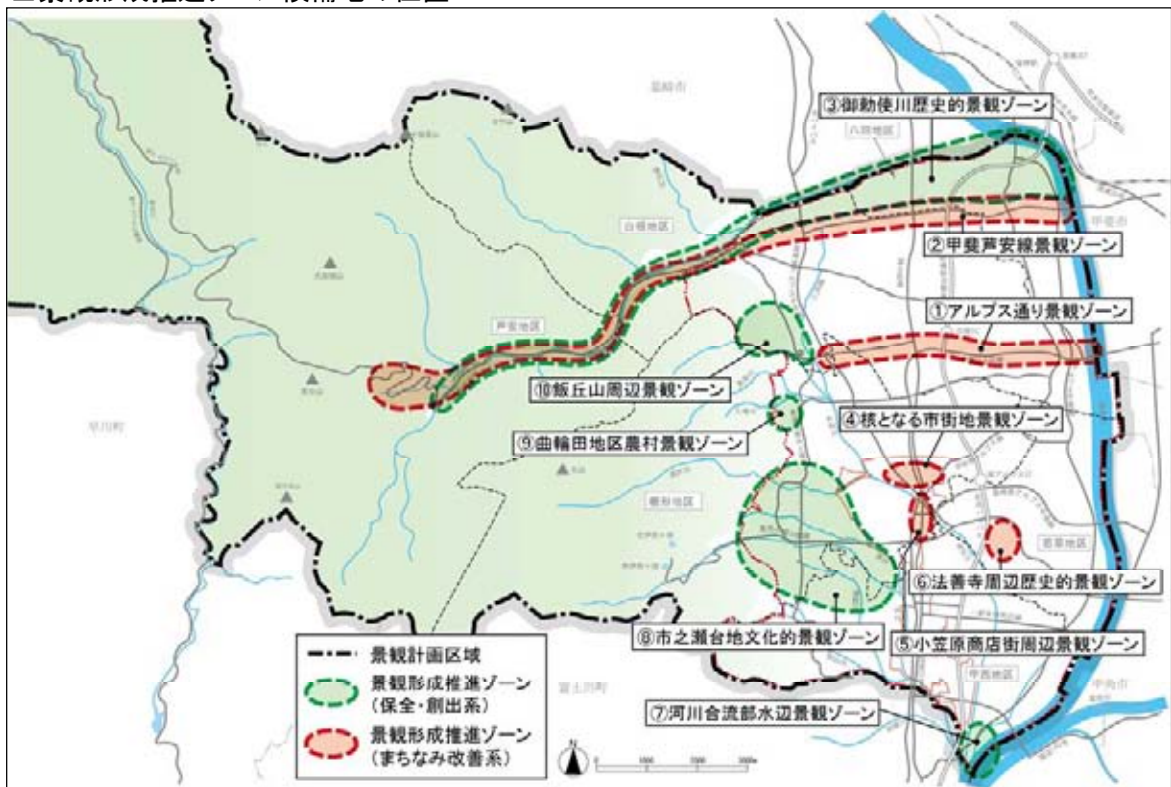
#### 【景観形成推進ゾーンの選定の考え方】

- ①南アルプス市らしさを象徴する良好な景観ゾーンで、景観の保全が必要なところ
- ②本市の景観の拠点、顔として、良好な景観形成が望まれるところ
- ③まちづくりに関するプロジェクトが実施あるいは計画されているところ
- ④市民の発意により、景観まちづくりに関する取り組みが行われているところ 等

#### 【景観形成推進ゾーン候補地の選定】

- ①アルプス通り景観ゾーン（シンボルロードにふさわしい美しいみちづくり）
- ②甲斐芦安線景観ゾーン（南アルプスと御勅使川歴史ゾーンに誘う観光道路の景観づくり）
- ③御勅使川歴史的景観ゾーン（御勅使川ゆかりの歴史文化的ゾーンの景観づくり）
- ④核となる市街地景観ゾーン（本市の核となる市街地ゾーンの景観づくり）
- ⑤小笠原商店街周辺景観ゾーン（地域の中心にふさわしい景観づくり）
- ⑥法善寺周辺歴史的景観ゾーン（甲斐源氏ゆかりの歴史を生かした景観づくり）
- ⑦河川合流部水辺景観ゾーン（河川合流部の特異な構造と水辺を生かした景観づくり）
- ⑧市之瀬台地文化的景観ゾーン（本市を代表する文化的景観ゾーンの景観づくり）
- ⑨曲輪田地区農村景観ゾーン（本市らしさを伝える美しい農村景観づくり）
- ⑩飯丘山周辺景観ゾーン（里山を生かした観光レクリエーション拠点の景観づくり）

#### ■ 景観形成推進ゾーン候補地の位置



## (2)景観形成推進ゾーンの景観形成方針

### 1)アルプス通り景観ゾーン

#### ■現状と課題

- アルプス通り\*1は、甲府市緑ヶ丘から中央自動車道甲府昭和IC・開国橋を経て、本市の中部横断自動車道白根IC、国道52号を結び、南アルプスの山並みを眺めることができる景観的に優れた道路で、本市のシンボル道路となっています。  
開国橋は本市の玄関口となっており、周辺からの南アルプスや八ヶ岳等の美しい眺望に恵まれています。  
開国橋や白根IC周辺は、大型店舗等が立地し、まちの玄関口として賑わいある景観が形成されていますが、今後の店舗立地や屋外広告物等の増加により、景観への影響も懸念されています。
- アルプス通りは、国道52号からループ橋方面までのルートを含め、景観に配慮した道路整備と本市のシンボル道路にふさわしいまちなみ景観の向上が求められています。

#### ■景観形成の目標

**本市のシンボル道路にふさわしい、美しいみちづくりをめざします。**

#### ■景観形成方針

##### ①まちの玄関口としての魅力を高める

- ・開国橋周辺、道の駅や大規模店舗が集積する白根IC周辺は、本市の玄関口にあたる場所であり、良好な眺望を生かした橋詰広場の整備、案内板やサインの充実、まちかど花壇の設置や道路空間や沿道施設の緑化など、玄関口としてのイメージと魅力を高める景観づくりを図ります。



・看板が乱立する開国橋付近

##### ②道路整備に併せた道路景観の整備を図る

- ・国道52号からループ橋方面までのルートを含め、道路緑化や景観に配慮した道路施設整備など、シンボル道路にふさわしい道路景観の魅力づくりを図ります。



・山が近くに見える国道52号付近

##### ③景観に配慮した建築物や屋外広告物等の適正な誘導を図る

- ・道路沿道については、眺望の保全、周辺景観に配慮した屋外広告物やまちなみの適正な誘導、景観阻害要因の改善等により、シンボル道路にふさわしい良好なまちなみ景観の形成を図ります。



・南アルプスに向かってビスタ\*2のきいた景観



・正面に農鳥岳と間ノ岳をみるアルプス通りの景観

注) \*1 「アルプス通り」という名称は、県が道路の愛称として名付けたもので、正式には甲府市緑ヶ丘から国道20号までの区間となっていますが、一般的には国道20号から開国橋を経て国道52号までを「アルプス通り」と呼んでいるため、本計画書においても同様としました。

\*2 ビスタとは、両側に並木や建築物などが並んだ場合などのように正面に向かって奥行き深い眺めのことです。「通景」や「見通し景観」などともいいます。



## 2)甲斐芦安線景観ゾーン

### ■現状と課題

- 主要地方道甲斐芦安線は、甲斐市中心部、国道20号と本市の芦安地区、南アルプス方面を結ぶ通称南アルプス街道と呼ばれる観光道路で、八田地区の沿道は生活の中心ゾーン、芦安地区の沿道は生活の中心、観光ゾーンのまちなみが形成されています。信玄橋は本市の玄関口となっており、富士山や八ヶ岳等周辺の美しい眺望に恵まれています。
- 主要地方道甲斐芦安線は、南アルプスや御勅使川歴史景観ゾーンへ誘う重要な観光道路として、御勅使川の水辺空間と一体となった道路景観や沿道景観の向上が望まれます。

### ■景観形成の目標

**南アルプスと御勅使川歴史ゾーンへ誘う観光道路として、おもてなしを感じる景観づくりをめざします。**

### ■景観形成方針

#### ①道路空間の魅力高める

- ・本路線は、南アルプスや御勅使川歴史景観ゾーンへ誘う重要な景観軸となる道路であり、良好な眺望を生かした信玄橋の橋詰広場の整備、道路空間の修景やポケットパークの整備、沿道の特性に応じたスポット的な街路樹の植栽、まちかど花壇の設置、沿道の主要施設に対する案内サインの充実など、観光道路としての魅力づくりを図ります。
- ・特に、芦安地区の山間部で景観に配慮した道路構造物（道路付属物、擁壁、法枠、落石防護ネット、シェルター等）の整備、御勅使川の水辺空間の魅力の向上を図るとともに、変化に富んだシークエンス（移動により展開する風景）の魅力を生かし、観光客がときめきを感じるような景観の演出に配慮します。



・信玄橋の橋詰からみた八ヶ岳の眺望



・雑然とした印象の道路景観

#### ②景観に配慮した建築物や屋外広告物等の適正な誘導を図る

- ・道路沿道については、良好な眺望や御勅使川の水辺景観の保全、周辺景観に配慮した屋外広告物やまちなみの適正な誘導などを図るとともに、ごみの不法投棄や野積みに対する適正な景観対策、また、露出した山肌についての景観的配慮など、観光道路にふさわしく、おもてなしの感じられる良好な沿道景観の形成を図ります。



・景観への配慮が望まれる看板類



・集落中心部のまちなみ



・集落入口付近の沿道景観

### 3)御勅使川歴史的景観ゾーン

#### ■現状と課題

●御勅使川およびその周辺には、芦安堰堤をはじめ、石積出、将棋頭、堀切、能蔵池、徳島堰と小将棋頭、水宮神社、矢崎家住宅などの御勅使川の治水・利水の歴史を物語る歴史遺産が数多く残されており、また、大塚遺跡、石橋北屋敷遺跡、野牛島・大塚遺跡、立石下遺跡、徳永・三崎遺跡、百々遺跡、榎原・天神遺跡、仲田遺跡などの遺跡群が分布するなど、本市の誇る歴史文化ゾーン\*となっています。

また、御勅使南公園と隣接する河川敷をはじめ、御勅使川の上流部や金山沢、御庵沢の水辺は、市民の憩い・レクリエーションの場として親しまれています。

●南アルプス市らしさを代表する歴史的な景観ゾーン、南アルプスへ誘う重要な景観軸として、歴史資源の保存と積極的なまちづくりへの活用を図るとともに、御勅使川の水辺景観の向上が望まれます。

#### ■景観形成の目標

**御勅使川ゆかりの歴史文化的なゾーン、南アルプスへ誘う景観軸として、自然と歴史文化が融合した魅力的な景観づくりをめざします。**

#### ■景観形成方針

##### ①歴史資源の顕在化とネットワークづくりを図る

- ・数多く分布する史跡や遺跡については、資源の顕在化・PR、保存を図るとともに、案内板やサインの設置、小広場等の整備を図ります。また、重要な史跡や遺跡については、必要に応じて公園化（歴史公園、遺跡公園など）について検討します。
- ・また、主要地方道甲斐芦安線からのアクセス道路や駐車場の整備を図るとともに、ルートの設定、サインや小広場等の整備など、御勅使川ゆかりの史跡や遺跡を巡る（仮称）歴史の散歩道づくりを検討します。



・石積出



・将棋頭



・堀切

##### ②水辺景観の向上を図る

- ・御勅使川については、水辺景観の維持向上に努めるとともに、山間部においては、自然や景観に配慮した護岸、親水空間、散策ルートの整備など、主要地方道甲斐芦安線の道路空間と併せた水辺空間の魅力づくりを図ります。
- ・また、金山沢や御庵沢など、上流の沢筋に設置される堰堤、法枠コンクリート等の治山・治水施設については、周辺の自然や景観に配慮した整備を促進します。



・扇状地を流れる下流部の水辺



・芦安中心部を流れる水辺



・御庵沢の親水空間

##### ③景観に配慮したまちなみの適正な誘導を図る

- ・史跡や遺跡の周辺および（仮称）歴史の散歩道の沿道、御勅使川沿いについては、周辺景観に配慮したまちなみの適正な誘導、景観阻害要因の改善等により、良好なまちなみ景観の形成を図ります。



・芦安の集落地入口付近

注) \*本市では、こうした歴史遺産の価値を再認識とその魅力を引き出し、広く観光客に伝えていくため、「遺跡で散歩」と題した観光マップを作成し、観光PRに努めています。

## 4)核となる市街地景観ゾーン

### ■現状と課題

- けやき通り（楡形スポーツ公園通り）周辺では、楡形総合公園をはじめ、行政施設、文化交流施設、教育施設が集積しており、国道52号周辺では、商業店舗等の立地が進むなど、本市の核となる新しい市街地ゾーンが形成されつつあります。  
また周辺では、都市再生整備計画事業の一環で、楡形総合公園の拡充、地域防災交流センターの整備をはじめ、道路の緑化や歩道の整備、街区公園の整備等が進められています。
- 新山梨新環状道路や南アルプスICと近接する本市の核となる新しい市街地ゾーンとして、都市機能の集積・強化を図るとともに、まちづくり事業と連携しながら、本市の新しい顔、賑わいの拠点にふさわしい景観形成が望まれます。

### ■景観形成の目標

**本市の核となる新しい市街地ゾーンにふさわしい魅力的で、活力ある景観づくりをめざします。**

### ■景観形成方針

#### ①けやき通りのまちなみ景観の向上を図る

- ・ 新たな市街地ゾーンのメインストリートであるけやき通りについては、良好なけやき並木の保存・育成方法について検討するとともに、道路空間の修景など、本ゾーンのシンボリックな道路として魅力づくりを図ります。
- ・ また、沿道や店舗立地が進むゾーンについては、周辺景観に配慮した屋外広告物やまちなみの適正な誘導、景観阻害要因の改善等により、良好なまちなみ景観の形成を図ります。



・けやき通り(楡形スポーツ公園通り)



・沿道に立地する商業施設

#### ②まちづくり事業と連携した公共施設の景観の向上を図る

- ・ 既存の各種公共施設については、必要に応じて適切な緑化や修景を図るとともに、整備が進められている楡形総合公園（拡充）、地域防災交流センター、道路、緑道、公園・広場等については、景観に配慮した整備を図ります。



・地域防災交流センター



・楡形総合公園



・一の出し街区公園

## 5)小笠原商店街周辺景観ゾーン

### ■現状と課題

- 江戸時代に駿信往還の宿場町（小笠原宿）として栄えた歴史をもつ小笠原商店街とその周辺の市街地ゾーンで、市役所をはじめ多くの公共公益施設が立地し、本市の中心的な市街地を形成しています。  
既存商店街については、まちなみ景観の向上を図るため、これまで、道路景観整備、電線類の統合などが行われています。
- 商店街の魅力づくりと活性化、行政拠点としての魅力の向上など、本市の顔、賑わいの拠点にふさわしい景観形成が望まれます。

### ■景観形成の目標

**宿場町、地域の中心として栄えた歴史を大切にし、魅力的で、活力ある景観づくりをめざします。**

### ■景観形成方針

#### ①商店街の魅力と活力を高める

- ・中心商店街については、引き続き道路景観の魅力づくりを促進するとともに、沿道においては空き店舗の有効活用、魅力ある個店の誘致、各種活性化イベントの開催など、商店街の活性化を通じて、魅力的で活力ある景観形成を図ります。



・小笠原商店街



・小笠原商店街

#### ②商店街周辺部の魅力を高める

- ・商店街周辺については、市役所の修景・緑化、小笠原中央通り、桜橋通りの修景・緑化、小広場の整備、まちかど花壇の設置、サインなど路地空間の整備、社寺等を結ぶ回遊ルートづくりなど、おもてなしを感じる景観づくりを図ります。
- ・また、周辺景観に配慮した屋外広告物やまちなみの適正な誘導、景観阻害要因の改善等により、良好なまちなみ景観の形成を図ります。



・小笠原中央通り



・桜橋通り



・市役所本庁舎



・楯形パークアベニュー



・仲町ふれあい広場

## 6)法善寺周辺歴史的景観ゾーン

### ■現状と課題

- 法善寺や若草支所周辺一帯は、甲斐源氏の一人、加賀美遠光の本拠地があったとされる場所で、加賀美遠光館跡（法善寺）や加賀美遠光廟所などの文化財をはじめ、古代条里制の名残として碁盤目状の区画が残されており、加賀美遠光館跡に移されたといわれる法善寺周辺には、堀や土塁が往時の面影を伝えています。  
このため、加賀美の集落の歴史は古く、法善寺周辺には古い民家や路地など、碁盤目状の趣のある家並みが形成され、自噴泉跡や井戸、水路、周囲を囲む水田や山なみの風景が一体となって、特色ある集落景観を形成しています。
- 甲斐源氏ゆかりの歴史ゾーンであり、また、曲輪田集落や西野集落がそれぞれ根方、原方、を代表する集落であるのと同様、法善寺周辺は本市の田方を代表する集落景観ゾーンであるため、良好な景観の維持向上を図るとともに、上記のような特色や魅力を積極的にまちづくりに活用していくことが望まれます。

### ■景観形成の目標

**甲斐源氏ゆかりの歴史ゾーン、特徴的な集落景観ゾーンとして、良好な景観の維持・保全と活力ある景観づくりをめざします。**

### ■景観形成方針

#### ①歴史資源や集落景観を生かしたまちづくりを進める

- ・甲斐源氏ゆかりの歴史資源の発掘、PRなど、資源の積極的な顕在化を図るとともに、案内板やサインの設置、場所性に合った小広場等の整備を図り、周辺の歴史資源や特徴的な集落景観や農村景観を巡る「(仮称)加賀美・歴史と野辺の散歩みち」づくりを検討します。



・条里制の名残である碁盤の目状の集落内道路



・加賀美遠光館跡でもある法善寺

#### ②景観に配慮したまちなみの適正な誘導を図る

- ・法善寺周辺や「(仮称)加賀美・歴史と野辺の散歩みち」の沿道、趣のある集落地などについては、周辺景観に配慮したまちなみの適正な誘導、景観阻害要因の改善等により、良好なまちなみの誘導を図ります。
- ・また集落内にみられる水路、自噴泉や掘り抜き井戸などは、田方の集落ならではの身近な景観資源であり、保全を図るとともにまちなみ景観への活用を努めます。



・集落内を流れる水路



・今も残る掘り抜き井戸

## 7)河川合流部水辺景観ゾーン

### ■現状と課題

- 坪川、滝沢川など、本市の扇状地を流れる主要な河川の多くは、甲西地区南部周辺で合流していますが、その多くは建物より高い天井河川となっており、釜無川や笛吹川の豊かな水辺空間と一体となって、特異な景観を形成しています。
- この天井河川は、幾多の水害から耕地と生活を守るため、河川改修や築堤を繰り返してきた先人たちの川と向かいあってきた営み、労苦の歴史でもあり、御勅使川の治水遺産や市之瀬台地の棚田などと並んで、本市の文化的景観としての価値を有していると考えます。このため、地域の歴史の証として、天井川の形態や歴史性を何らかの形で保存するとともに、釜無川や笛吹川の水辺空間と一体となった良好な水辺景観ゾーンの形成が望まれます。

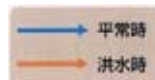
### ■景観形成の目標

**先人達の河川と向き合ってきた営みの歴史を大切にするとともに、特異な構造と豊かな水辺資源を生かした景観づくりをめざします。**

### ■景観形成方針

#### ①天井河川の保存方法を検討する

- ・ 天井河川については、かつては、道路と川、川と川との立体交差といった、本市特有の珍しい景観が多くみられましたが、水害の危険性が高いことから、これまで河床の掘削や護岸整備など、大規模な河川改修が行われてきました。
- ・ 治水安全性の確保は重要ですが、文化的景観としての価値も高いことから、堤防構造のみを保存するなど、何らかの保存方法の検討を図ります。



・河川の立体合流部

#### ②文化的景観の保全と水辺の景観拠点ゾーンの形成を図る

- ・ 現在、釜無川と笛吹川の合流部周辺については、富士川環境整備事業（国土交通省）の一環で、中央市田富地区の水辺の楽校、市川三郷町、富士川町の水辺環境整備事業（親水広場など）が実施されています。
- ・ 今後、隣接する富士川町とも連携して、天井河川の歴史の顕在化を図るとともに、河川管理者等、関係機関との協議を図りながら、親水空間の整備、子ども達の環境教育の場としての活用など、新たな水辺の景観拠点ゾーンの形成に向けた検討を図ります。



・明治22年に築造された石積アーチ型樋門にはめこまれていた石板



・かつて天井川の下につくられた市之瀬川隧道

## 8)市之瀬台地文化的景観ゾーン

### ■現状と課題

●縄文時代以前の古くから人々の暮らしがあったとされる市之瀬台地周辺には、六科丘古墳、物見塚古墳、塚原上村古墳、長田口遺跡、鋳物師屋遺跡などの遺跡群や椿城（上野城）址などの史跡、甲斐源氏時代からの熊野神社や伝嗣院をはじめとした古寺名刹や社寺群など、数多くの歴史資源が分布し、御勅使川周辺と並んで、本市を代表する歴史文化ゾーン\*となっています。

また、中野、上市之瀬周辺には広く棚田が分布し、後背の里山と一体となって特徴的な農村景観を形成しており、台地からは、甲府盆地や八ヶ岳、富士山を一望できるなど、眺望に優れています。

●自然と風土、人々の永い営みにより形づくられた、南アルプス市らしさを代表する美しい景観ゾーンであり、今後ともこれらの貴重な景観資源の保存を図るとともに、積極的にまちづくりに活用していくことが望まれます。

### ■景観形成の目標

**本市を代表する歴史文化的景観ゾーンとして、景観の維持・保全と、魅力的で活力ある景観づくりを図ります。**

### ■景観形成方針

#### ①優れた景観資源の保存・保全を図る

・本ゾーンでは、次のような風景が一体になって、地域らしさを特徴づける美しい景観が形成されており、これらの景観の維持・保全に努めます。

- ・本市を代表する文化的景観である美しい棚田の風景
- ・地域の歴史を今に伝える貴重な遺跡群、史跡、古寺名刹や社寺群など
- ・集落地の景観を特徴づけている身近な景観資源（家並み、古木・大木、屋敷林、生け垣、古民家、水路、塚、祠など）
- ・優れた眺望（ウエスタンラインなど）



・市之瀬台地全景

#### ②貴重な歴史資源の保全と郷づくりへの活用を図る

- ・本市を代表する文化的景観ゾーンとしての魅力を高め、地域活力に寄与する景観まちづくりを推進するため、次のような取り組みを総合的に促進します。
- ・市民参加による地域資源の掘り起こし、景観マップの作成、PRなど
- ・里山づくり（植樹活動、森林環境学習、トレイル整備など）
- ・棚田の保全・活用、耕作放棄地の有効利用（市民農園、修景緑地など）
- ・良好な眺望場所の選定と整備
- ・ウエスタンラインの魅力づくり（緑化、修景など）
- ・魅力的な資源を結ぶ（仮称）ふるさと歴史の散歩道の検討（サインや小広場の整備等）
- ・遺跡などの緑地整備や遺跡公園化の検討
- ・グリーンツーリズム、エコツーリズムの推進など



・市之瀬台地の棚田



・棚田から甲府盆地の眺望

注) \*本ゾーンについても、本市では、御勅使川周辺と同様に「遺跡で散歩」と題した観光マップを作成し、観光PRに努めています。

## 9)曲輪田地区農村景観ゾーン

### ■現状と課題

●本市の「根方」を代表する集落で、縄文・弥生時代の曲輪田遺跡があるなど古くからの集落です。江戸時代の徳島堰の開通後に枝郷であった曲輪田新田とともに田畑の開墾が進み、現在の集落の基礎がつけられました。今日においても、傾斜地の入り組んだ集落形態や蔵や古い民家などの趣のある家並み、後背の里山や谷あい広がる棚田、優れた眺望などが一体となって特色ある農村景観を形成しています。

市内には、このほか、古代の条里制の名残のある法善寺周辺の加賀美集落、原方の中心地である西野集落、高尾の穂見神社を中心とした山村集落など、本市の歴史を物語る特徴的な集落地が分布しています。

●曲輪田集落周辺は、南アルプス市らしさを象徴する代表的な農村景観ゾーンであり、景観の維持・保全を図るとともに、優れた景観資源を生かした活力あるまちづくりが望まれます。

### ■景観形成の目標

**本市らしさを伝える特徴的な農村景観ゾーンとして、良好な景観の維持・保全と活力ある景観づくりをめざします。**

### ■景観形成方針

#### ①身近な景観資源の保全と活用を図る

・優れた眺望景観の保全をはじめ、周辺の里山や樹林地、棚田と石積み、趣のある集落道路、古木、屋敷林、古民家、大室川の水辺など、農村景観を特徴づけている景観資源の保全を図ります。



・曲輪田の集落と眺望景観



・集落道路と石積み



・諏訪神社の鎮守の森

#### ②美しい農村景観を生かした郷づくりを進める

・地域ぐるみで、魅力的な景観資源の掘り起こし（お宝発見！）を図るとともに、必要に応じて里山や棚田等の景観的な整備、飯丘山周辺や市之瀬台地周辺をつなぐ（仮称）ふるさと歴史の散歩道づくり、景観マップの作成・PR、グリーンツーリズムによる里山や棚田の有効活用など、美しい景観資源を生かした活力あるまちづくりを促進します。



・根方を代表する曲輪田の風景



・棚田・集落・里山が一体となった風景

#### ③景観に配慮した建築物等の適正な誘導を図る

・集落地周辺の土地や建築物等に関する行為の制限、景観阻害要因の改善などにより、良好な農村景観の維持保全を図ります。



・里山を背景とした棚田と石積みの風景



・集落内の民家



## 10)飯丘山周辺景観ゾーン

### ■現状と課題

- 白根地区の飯丘山を中心とした山麓ゾーンで、里山の森、大和川など、豊かな自然に恵まれ、ループ橋周辺からは甲府盆地や八ヶ岳が一望できるなど、眺望に優れています。山麓を結ぶ農道沿いでは、市民による桜の植樹活動が行われています。
- 飯丘山周辺は、南アルプス市南ア山麓里山活性化基本計画において、観光レクリエーション拠点（健康増進と農業体験ゾーン）に位置づけられています。

### ■景観形成の目標

**里山を生かした新しい観光レクリエーション拠点として、良好な景観の維持・保全と魅力ある景観づくりをめざします。**

### ■景観形成方針

#### ①自然や地域景観に配慮した施設整備を図る

- ・南アルプス市南ア山麓里山活性化基本計画では、森林療法の場、自然体験型レクリエーションの場として、交流施設、飲食・販施設、展望広場、駐車場、体験農場、散策ルート、桜並木等の整備、里山の整備（樹林地の植生回復）などが想定されています。これらの整備に際しては、良好な自然（生態系）や地域景観に配慮したものとします。
- ・また、高台より甲府盆地や本市の田園居住景観エリア全体を眺める絶好のロケーションにあることから、展望広場等の整備にあたっては、十分に眺望を楽しめる施設整備を図ります。



・釜無川から望む飯丘山と南アルプス



・春の飯丘山

#### ②山麓の主要な景観ゾーンを結ぶ農道の魅力を高める

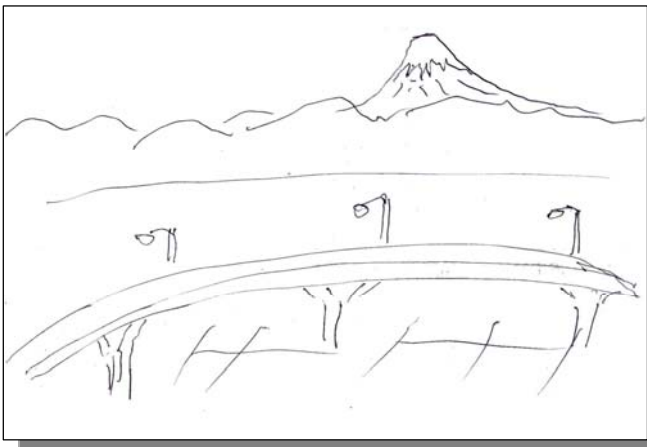
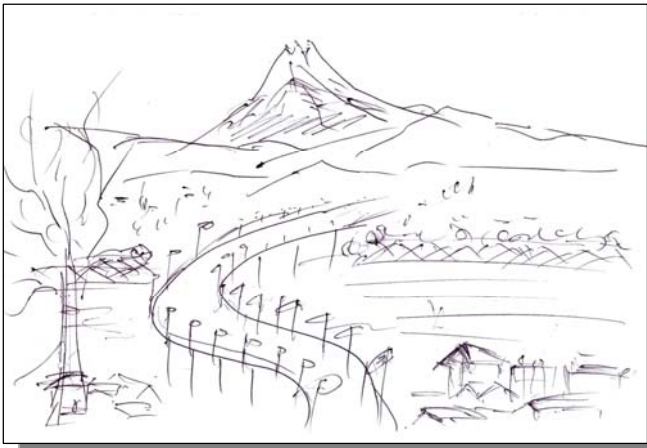
- ・山麓を結ぶ農道は、本ゾーンと曲輪田農村景観ゾーン、市之瀬台地文化的景観ゾーンを結ぶ山麓の重要な観光ルートであり、眺望景観にも配慮しながら、道路の緑化・修景、サインの整備、沿道の標識、広告旗、看板などの適正な誘導、景観阻害要因の改善等により、魅力の向上を図ります。



・山麓を結ぶ農道



・ループ橋からの眺望



●掲載の絵は、平成19年12月に実施した「景観アンケート調査」の自由記入欄（私の好きな南アルプス市の風景）に描かれた絵の中から抜粋しました。